

C2
3
02

福鏞芳隆編纂

本朝民鑒

辛卷

千鍾房藏版

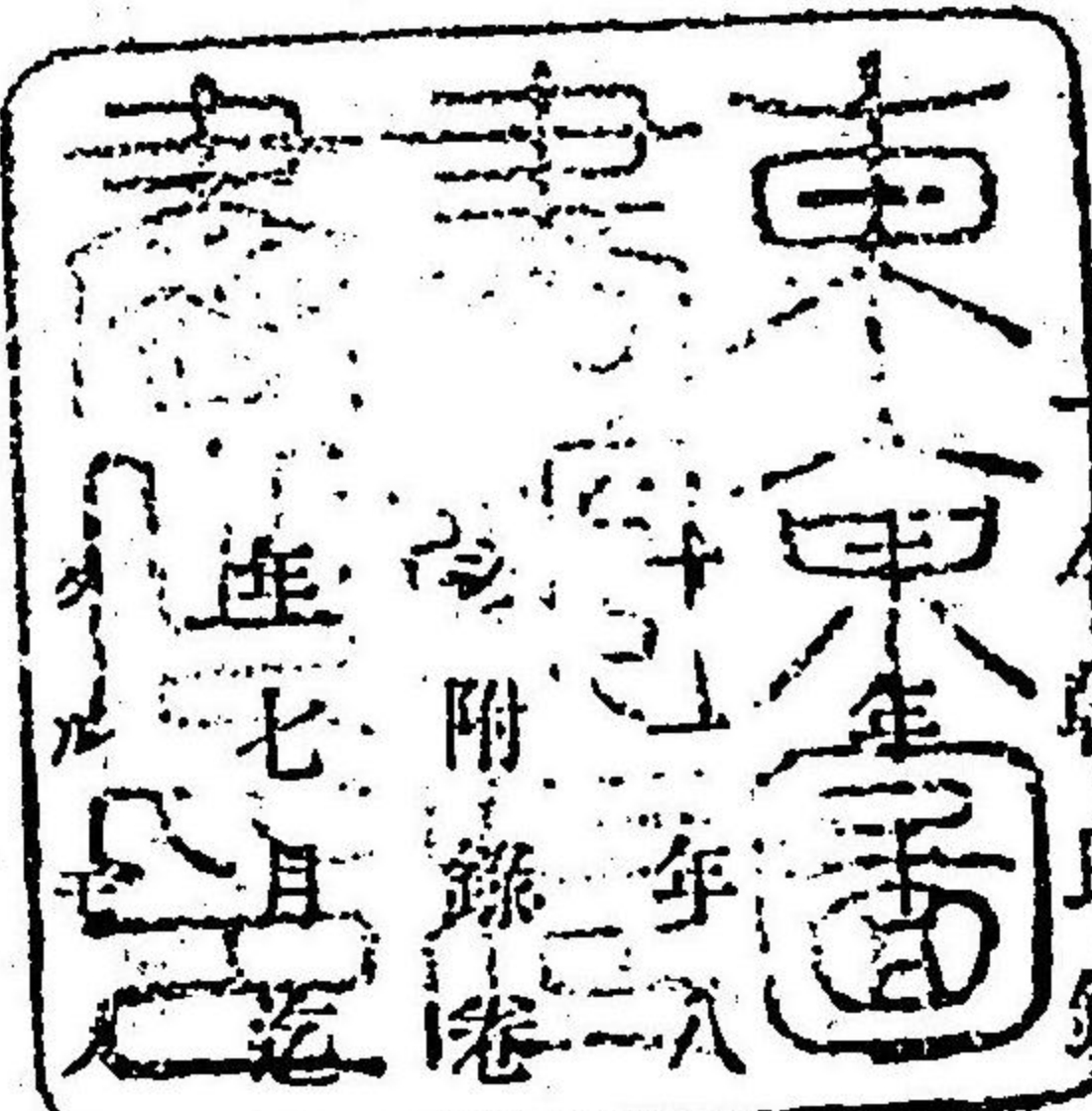
千鍾房藏版

東
書
香

山
館
圖

例言

一本朝民鑑ハ主トシテ法令規則ノ沿革ヲ知ルノ便ニ供ス
ルニアリト雖モ歲月ヲ經ルニ從テ冊數漸次増加シ其年
度ヲ知ルニ困シムノ歎ナシトスベカラサルヲ慮リ其概
畧ヲ記サントス



一本朝民鑑 乾坤二卷以下附錄卷ノ四迄ハ明治元年ヨリ同
月迄ノ布令告達ヲ類別掲載シ附錄卷ノ五ハ同
月迄ノ布令告達ヲ前篇ノ類目ニ因テ繼續纂輯
ノ六ハ同十一年十二月迄附錄卷ノ七ハ同十二
本篇ハ同十二年十二月迄ノ布令告達ヲ類纂シ
トス且編輯ノ体裁皆附錄卷ノ五ト同シ
一此編ハ本朝民鑑乾坤以下附錄卷ノ七ニ至ル迄卷中掲ク

ル所ノ條例諸規則中加除廢棄等ハ勿論其他條例規則ニ
連及スル布令告達ハ漏カス前編類目ノ序次ニ從テ追記
シタルモノニシテ戊辰以降客年十二月迄ノ諸布令ノ沿
革ヲ知ラント欲セハ宜シク前篇類目ト對照シ一讀瞭然
ナルヲ知ルベシ

一 此篇ニ於テ前篇ノ類目ニ漏ル、モノハ其布令告達ニ變
更ナキモノト知ルベシ

一 本朝民鑑類目外ノ布令告達ハ卷末ニ集録シタリ故ニ假
令一時ノ告達ト雖モ此書ニ漏ル、コナシ

一 此書卷末ニ掲クル布令要領ハ其告達ノ大意ヲ摘撮シ官
省ノ序次ト月日ノ順序トニ從テ是ヲ掲ク唯急速搜索ノ
便ニ供スル而已

一 本年一月以降ノ告達ハ附録卷ノ九トシテ他日出板スベ
シ

明治十三年

編者誌

本朝民鑑附錄卷ノ八題目

題目

- | | | |
|--------------|----|---|
| ○內務省職制及章程 | 初 | 丁 |
| ○大藏省職制及章程 | 自二 | 丁 |
| ○陸軍省職制及章程 | 自八 | 丁 |
| ○大審院職制 | 八 | 丁 |
| ○警視局職制及章程並服制 | 自八 | 丁 |

題目二

○ 電信條例

自九十八至百一十二丁

○ 出版條例

百一十九丁

○ 鎮臺條例

自百三十五至百三十五丁

新舊公債証書發行條例

自百三十二至二百二十五丁

○ 株式取引條例

二百二丁

○ 新聞條例

二百三丁

○ 違式註違條例

自二百四至二百五丁

○ 月俸規則

二百六丁

○ 郵便規則及罰則

二百六丁

○ 造幣規則

自二百七至二百八丁

○ 地所名稱區別

二百十八丁

○ 戶籍

二百十九丁

○ 建造物書入質及賣買讓渡規則

自二百二十三至二百二十三丁

○ 地券渡方規則

二百二十四丁

題目三

題目四

○訴訟入費償却規則

二百二十五丁

○控訴上告規則

二百二十五丁

○賣藥規則

二百二十六丁

○日本抗法

二百二十八丁

○司法警察規則

自二百二十九丁
至二百三十四丁

○軍人瀛船乘組手續

自二百三十五丁
至二百四十五丁

○內國難破船救助
漂流物取扱規則

自二百四十三丁
至二百四十四丁

○遺失物取扱規則

自二百四十五丁
至二百四十六丁

○鳥獸獵規則

自二百四十七丁
至二百四十八丁

○証券印稅規則

自二百四十九丁
至二百五十一丁

○官祿稅規則

二百五十二丁

○租稅延納規則

自二百五十二丁
至二百五十四丁

○地租徵收期限

自二百五十五丁
至二百五十六丁

○官令揭示心得

二百五十六丁

題目五

題目六

- 燈明番試檢手續
自二百六十七丁
至二百六十七丁
- 學制及教育令
自二百六十二丁
至二百八十二丁
- 兵學局生徒入寮規則
自二百八十二丁
至二百八十二丁
- 官林及監守人規則
自二百八十二丁
至二百八十六丁
- 諸拂下規則
二百八十七丁
二百八十七丁
- 醫術開業試檢手續
二百八十八丁
二百八十八丁
- 博覽會出品心得
自二百八十八丁
至三百五十六丁

○ 徵兵令
自三百五十七丁
至五百五十五丁

○ 官金取扱規則
自五百五十六丁
至五百六十六丁

○ 神社改正及神官
自五百六十二丁
至五百九十二丁

○ 僧尼教導職心得
自五百九十三丁
至五百九十五丁

○ 社寺祿制
自五百九十五丁
至六百四十五丁

○ 諸業取締規則
自六百四十五丁
至六百六十四丁

○ 疫牛處分心得
自六百六十四丁
至六百七十七丁

題目七

○ 傳染病豫防規則

題目八

- 中央衛生會職制及事務章程 自六百七十七丁至六百九十六丁
- 檢疫掛職務假規則 自六百九十七丁至七百九丁
- 禁令 七百十丁
- 巡查懲罰令 七百十丁
- 貸座敷娼妓規則 自七百一十一丁至七百一十二丁
- 賣淫取締罰則 七百一十二丁
- 監獄則 自七百二十三丁至七百二十三丁

- 水上警察規則 自七百二十四丁至七百二十四丁
- 巡查召募規則 七百二十四丁
- 警察月報送致手續 自七百二十五丁至七百四十二丁
- 警部巡查給與規則及警察費勘定帳簿形 自七百四十三丁至七百四十四丁
- 消防規則 自七百四十五丁至七百五十八丁
- 賞牌佩用及年金拜受心得 自七百五十九丁至七百六十一丁
- 銀行條例 自七百六十二丁至七百六十五丁

題目九

題目一〇

- 旅費定則 自七百六十六丁至七百七十六丁
- 郡區町村編制法 七百七十一丁
- 府縣會規則 自七百七十一丁至七百七十六丁
- 地方稅規則 自七百七十七丁至七百七十八丁
- 恩給令 自七百七十九丁至七百八十二丁
- 陸軍檢閱條例 自七百八十三丁至八百八丁
- 外國人內地旅行規則 自八百九丁

- 飲料水規則 自八百十九丁至八百丁
- 陸軍會葬式 八百一丁
- 國稅金領収順序 自八百十二丁至八百十三丁
- 社寺寶物取調心得 自八百十三丁至八百十四丁
- 司法省職制及檢事職制章程 八百十四丁
- 諸產物共進會規則 自八百十五丁至八百十九丁
- 陸軍士官學校生徒入學規則 自八百十九丁至八百四十九丁

題目二三

- 題目外太政官布告達 八百五十一丁
- 同 內務省布令達 八百六十一丁
- 同 警視本署布令達 八百六十三丁
- 同 大藏省布令達 八百七十一丁
- 同 陸軍省布令達 八百七十四丁
- 同 海軍省布令達 九百丁
- 同 工部省布令達 九百二丁

- 同 司法省布令達 九百四丁
- 同 宮內省布令達 九百九丁
- 同 開拓使布令達 九百十三丁
- 同 東京府布令達 九百十六丁

題目二三

本朝民鑑附錄卷ノ八索引

○ 內務省職制及章程

(參考) 內務省中へ監獄局ヲ被置ノ件

一

丁

○ 大藏省職制及章程

(參考) 大藏省中議案課ヲ廢シ
記議案ノ兩局ヲ被置ノ件

一

丁

(參考) 大坂廣島熊本名古屋仙臺へ
租稅局出張所ヲ被置ノ件

二

丁

○ 陸軍省職制及章程

索引內務省職制及章程ノ部
索引大藏省職制及章程ノ部
索引陸軍省職制及章程ノ部

索引一

索引二

(參考) 陸軍省職制章程改正ノ件 二 丁

(參考) 陸軍省職制章程上 款第六條中正誤 二十五 丁

(參考) 陸軍省職制章程改正ニ付局名改正ノ件 二十五 丁

(參考) 砲兵本支廠ヲ廢シ砲兵第一方面砲兵第二方面東京砲兵工廠大坂砲兵工廠ヲ被置ノ件 二十六 丁

(參考) 陸軍武官々等改正ニ付官名改正ノ件 二十六 丁

(參考) 陸軍省條例改正ノ件 二十八 丁

(參考) 陸軍軍醫本部ヲ被置ノ件 六十六 丁

(參考) 官房服務概則被定ノ件 六十六 丁

○大審院職制

(追加) 大審院職制第一項ニ追加ノ件 八十三 丁

○警視局職制並章程及服制

(參考) 警視局中書記課外國掛ヲ第二課ニ被屬ノ件 八十四 丁

(參考) 警視局管理局府縣囚獄ノ事務監獄局ニ引渡ノ件 八十四 丁

(參考) 京橋區新船松町ニ水上警察署ヲ被置ノ件 八十四 丁

索引大審院職制ノ部
索引警視局職制並章程及服制ノ部

索引三

(參考) 大臣參議警衛ノ警察官稱呼ノ件 八十五丁

(參考) 警視局第一課中警衛掛ヲ被置ノ件 八十五丁

(參考) 警察官各分署へ出頭ノ節ハ角袖着用不相成旨ノ件 八十五丁

(參考) 巡查禮服制定ニ付是迄ノ制帽ヲ禮帽トシ制帽兼用ノ旨 八十六丁

(參考) 巡查禮式並手摺携方租器ノ者處分ノ件 八十六丁

(參考) 警部試補以上零服ノ義ハ小倉地ヲ以テ調製不苦旨 八十七丁

(參考) 警部補以上制帽服着用並帶劍心得第一條但書改正ノ件 八十七丁

(參考) 巡查新拜命ノ者ニ限リ禮服一着宛被渡ノ件 八十八丁

(參考) 巡查禮服着用方ノ件 八十九丁

(參考) 警部以上制服着用並帶劍心得第一條但書改正ノ件 八十九丁

(參考) 伊豆國大島ノ内新島村ニ警視出張所設置ノ件 九十一丁

(參考) 第一方面第五分署移轉ノ件 九十一丁

○ 電信條例

(參考) 萬國電信盟約ノ件 九十二丁

索引電信條例ノ部

(參考) 電信線路更換ノ件

百四丁

(參考)

石川縣下金澤分局ヨリ同縣下伏木迄及福岡縣久留米ヨリ同縣柳川ニ至ル電線落成ノ件

百六丁

(參考)

石川縣福井ヨリ同縣坂井港へ電線架設ノ件

百七丁

○出版條例

(參考)

明治十二年四月ヨリ六月迄出版書目ノ件

百九丁

○鎮臺條例

(廢止)

明治六年第二百五十五號布告鎮臺條例廢止ノ件

百十丁

(改正)

鎮臺條例被定ノ件

百十丁

○金祿公債証書發行條例

(參考)

金祿公債証書保存手續中買上ケニ關スル件廢止ノ旨

百三十六丁

(參考)

金祿公債証書買上廢止ニ付代金受取方期限ノ件

百三十六丁

(參考)

金祿公債証書保存手續中買上ニ關スル件廢止ノ旨

百三十八丁

(參考)

華族從三位尙泰へ金祿公債証書下賜ノ件

百三十八丁

(參考)

金祿公債証書紛失ノ件

百三十八丁

索引出版條例ノ部
索引鎮臺條例ノ部
索引金祿公債証書發行條例ノ部

索引七

索引八

(參考) 十二年甲第七十號大
藏省布達文中正誤

百三十九丁

(參考) 起業公債証書被盜ノ件

百三十九丁

(參考) 金祿公債証書發見ノ件

百四十丁

(參考) 金祿公債証書紛失ノ件

百四十一丁

(參考) 金祿公債証書發見ノ件

百四十一丁

(參考) 金祿公債証書被盜ノ件

百四十二丁

(參考) 金祿公債証書發見ノ件

百四十三丁

(參考) 金祿公債証書遺失並被盜ノ件

百四十四丁

(參考) 金祿公債証書紛失ノ件

百四十五丁

(參考) 金祿公債証書被盜ノ件

百四十六丁

(參考) 金祿公債証書被盜ノ件

百四十六丁

(參考) 金祿公債証書紛失ノ件

百四十七丁

(參考) 金祿公債証書被盜ノ件

百四十八丁

(參考) 金祿公債証書發見ノ件

百四十九丁

索引金祿公債証書發行條例ノ部

索引九

索引一〇

- (參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百五十八丁
- (參考) 金祿公債証書遺失ノ件 百五十一丁
- (參考) 金祿公債証書遺失ノ件 百五十二丁
- (參考) 金祿公債証書被盜ノ件 百五十三丁
- (參考) 金祿公債証書被盜ノ件 百五十四丁
- (參考) 金祿公債証書發見ノ件 百五十五丁
- (參考) 金祿公債証書發見ノ件 百五十六丁

- (參考) 金祿公債証書被盜ノ件 百五十八丁
- (參考) 金祿公債証書被盜ノ件 五十九丁
- (參考) 金祿公債証書被盜ノ件 百五十九丁
- (參考) 金祿公債証書發見ノ件 百五十九丁
- (參考) 金祿公債証書被盜ノ件 百六十丁
- (參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百六十丁
- (參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百六十一丁

索引金祿公債証書發行條例ノ部

索引一一

索引一二

- (參考) 金祿公債証書發見ノ件 百六十三丁
- (參考) 金祿公債証書被盜ノ件 百六十四丁
- (參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百六十五丁
- (參考) 金祿公債証書被盜ノ件 百六十六丁
- (參考) 金祿公債証書發見ノ件 百六十七丁
- (參考) 金祿公債証書發見ノ件 百六十七丁
- (參考) 金祿公債証書發見ノ件 百六十八丁

- (參考) 秩祿公債証書紛失ノ件 百六十九丁
- (參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百六十九丁
- (參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百七十丁
- (參考) 金祿公債証書發見ノ件 百七十一丁
- (參考) 秩祿公債証書紛失ノ件 百七十二丁
- (參考) 金祿公債証書被盜ノ件 百七十三丁
- (參考) 金祿公債証書被欺取ノ件 百七十五丁

索引金祿公債証書發行條例ノ部

索引二三

索引一四

(參考) 金祿公債証書發見ノ件 百七十六丁

(參考) 金祿公債証書賣買見合期限中買上証書ニ屬スル利金渡方ノ義 百六十六丁

(參考) 金祿公債証書保存手續中廢止ノ件 百七十七丁

(參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百七十八丁

(參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百七十九丁

(參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百八十丁

(參考) 金祿公債証書發見ノ件 百八十一丁

(參考) 金祿公債証書遺失ノ件 百八十二丁

(參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百八十三丁

(參考) 金祿公債証書發見ノ件 百八十四丁

(參考) 金祿公債証書發見ノ件 百八十五丁

(參考) 金祿公債証書被盜ノ件 百八十六丁

(參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百八十七丁

(參考) 金祿公債証書發見ノ件 百八十八丁

索引金祿公債証書發行條例ノ部

索引一五

索引一六

(參考) 金祿公債証書被盜ノ件 百八十八丁

(參考) 起業公債証書被盜ノ件 百八十九丁

(參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百八十九丁

(參考) 金祿公債証書發見ノ件 百九十丁

(參考) 舊公債証書紛失ノ件 百九十二丁

(參考) 金祿公債証書被盜ノ件 百九十三丁

(參考) 金祿公債証書被盜ノ件 百九十四丁

(參考) 秩祿公債証書紛失ノ件 百九十五丁

(參考) 金祿公債証書發見ノ件 百九十六丁

(參考) 金祿公債証書紛失ノ件 百九十七丁

(參考) 舊公債証書紛失ノ件 百九十八丁

(參考) 金祿公債証書發見ノ件 百九十八丁

(參考) 秩祿公債証書紛失ノ件 二百丁

(參考) 秩祿公債証書紛失ノ件 二百丁

索引金祿公債証書發行條例ノ部

索引一七

(參考) 金祿公債証書買上出願ノ節記名方ノ義 二百一丁

(參考) = 公債証書利賦金下渡濟
= 付賣買届出被差許旨 二百二丁

○株式取引條例

(參考) 東京大坂株式取引所ニテ
金銀貨取引差許ナル旨 二百二丁

(參考) 橫濱洋銀取引所自今橫
濱取引所ト改稱ノ件 二百二丁

○新聞條例

(參考) 新聞雜誌等一々年賣捌
高取調書式中改正ノ件 二百三丁

(參考) 新聞紙雜誌等ヲ讀
賣候儀不相成旨 二百四丁

○違式註違條例

(追加) 註違罪目第三十條
~ 但書追加ノ件 二百四丁

(改正) 違式罪目第六十九
條第七十六條刪除 二百四丁

(改正) 違式罪目第七十一條改正 二百五丁

(參考) 註違罪目第六十九條
及第七十六條ハ改正 二百五丁

索引株式取引所條例ノ部
索引新聞條例ノ部
索引違式註違條例ノ部

○月俸規則

(改正) 月俸規則中第三條改正ノ件

二百六丁

○郵便規則

(參考) 郵便切手一錢二錢ノ色分改正ノ件

二百六丁

(改正) 郵便規則及罰則被改定ノ件

二百七丁

○造幣規則

(參考) 貿易一圓銀ハ洋銀ト並價ニテ受領スル旨

二百八丁

(參考) 明治十一年十一月十三日五號布告ニ但書追加

二百八丁

(參考) 造幣ノ爲メ輸入スル金銀地金受取方規則ノ件

二百九丁

○地所名稱區別

(參考) 地所名稱區別中區入費云々ノ條改正ノ件

二百十八丁

○戶籍

(參考) 華族別戶願等差出方ノ件

二百十九丁

索引月俸規則ノ部
索引郵便規則ノ部
索引造幣規則ノ部
索引地所名稱區別ノ部
索引戶籍ノ部

索引二一

(參考)

小笠原島へ移住及寄留等件
テ航海ノ義當分被差止ノ件

二百二十丁

○建造物書入質及賣買讓渡規則

(參考)

兵庫縣ニ於テ地所及建物書
入質與書割印簿紛失ノ件

二百二十丁

(參考)

石川縣ニ於テ地所及建物書
入質與書割印簿燒失ノ旨

二百二十一丁

(參考)

山形縣ニ於テ地所及建物書
入質與書割印簿燒失ノ旨

二百二十二丁

(參考)

三重縣伊勢國多氣郡下ノ瀬村地所建物割印
簿錯雜ニ付右公証ヲ受タル者更ニ可申出旨

二百二十二丁

(參考)

新潟縣ニ於テ地所建物
書入質割印簿燒失ノ旨

二百二十三丁

○地券渡方規則

(參考)

地券ト臺帳ト割印ノ儀被廢ノ件

二百二十四丁

(參考)

地券授與取調ノ儀

二百二十四丁

○訴訟入費償却規則

(參考)

訴訟入費償却規則中差
添入ニ係ル件刪除ノ旨

二百二十五丁

○控訴上告手續

(參考)

刑事上告書類遞送方ノ儀

二百二十五丁

索引地券渡方規則ノ部
索引訴訟入費償却規則ノ部
索引控訴上告手續ノ部

(參考) 上告、節指出ス罪案并宣告書等ハ寫書共可差出旨

二百二十六丁

○賣藥規則

(參考) 内外用ノ施藥出願停止ノ件

二百二十六丁

(參考) 藥品ヲ配伍セシ酒類販賣ノ儀

二百二十七丁

○日本坑法

(參考) ノ砂鉄採取願出方ノ儀

二百二十八丁

○司法警察規則

(參考) 越獄逃走ノ者就縛ノ件

二百二十九丁

(參考) 被害者ヨリ吟味願出ルキハ其附帶シテ起ル民事裁判ヲモ與フヘキ旨

二百三十丁

(參考) 逃亡者人相書ノ件

二百三十二丁

(參考) 軍人軍屬逃走ノ者護送方ノ件

二百三十三丁

(參考) 官廳内ニアル變死ノ者檢視ノ件

二百三十四丁

○軍人漁船乗組手續

索引賣藥規則ノ部

索引日本坑法ノ部

索引司法警察規則ノ部

索引軍人漁船乗組手續ノ部

(參考) 軍人漁船乘組手續被定

索引二六
二百三十五丁

○ 內國難破船救助及漂流物取扱規則

(參考) 難破及衝突ニ係ル西
洋形商船屈出方ノ儀

二百四十二丁

(參考) 遺失物及置脏物漂流物取
扱心得第五條改正ノ件

二百四十三丁

(參考) 遺失物及置脏物漂流物取扱心得第
五條改正ニ付遞送費等辨償方ノ儀

二百四十四丁

○ 遺失物取扱規則

(參考) 遺失物取扱心得第
二十三條刪除ノ件

二百四十五丁

(參考) 遊獵免狀遺失ノ件

二百四十五丁

(參考) 鳥獸獵免狀遺失ノ件

二百四十六丁

(參考) 鳥獸獵免狀遺失ノ
處今般發見セシ旨

二百四十六丁

○ 鳥獸獵規則

(參考) 銃獵稅帳離形ノ件

二百四十七丁

(參考) 鳥獸獵期限ノ件

二百四十九丁

索引 內國難破船救助漂流物取扱規則ノ部
索引 遺失物取扱規則ノ部
索引 鳥獸獵規則ノ部

索引二七

○証券印稅規則

(參考) 証券印稅規則中追加ノ件

二百四十九丁

(參考) 銀行當坐預リ金小切手
押捺スル稅印見本ノ件

二百五十丁

(參考) 印稅見本郡區役所へ下渡ノ旨

二百五十一丁

(參考) 銀行當坐預リ金小切手
証券印紙交用不苦ノ件

二百五十二丁

○官祿稅規則

(參考) 官祿稅廢止ノ件

二百五十二丁

○租稅延納規則

(參考) 增稅延納割賦年限被定ノ件

二百五十三丁

(參考) 田方地稅預リ米ノ儀

二百五十四丁

○地稅徵收期限

(參考) 稅外收入及諸返納金等納
方ノ節領收証取扱方ノ儀

二百五十五丁

(參考) 納稅切符第二號離形中追加

二百五十六丁

索引証券印稅規則ノ部

索引官祿稅規則ノ部

索引租稅延納規則ノ部

索引地稅徵收期限ノ部

索引二九

○官令揭示心得

(參考) 河濠修繕ニ付揭示面改正ノ件 二百五十六丁

○燈明番試驗手續附錄一ノ

(參考) 長崎縣下肥前國五島ノ内福江大瀬崎燈臺白色ノ燈明ヲ設クルノ件 二百五十八丁

(參考) 宮城縣金花山燈臺ニ霧笛設置ノ件 二百五十九丁

(參考) 川濠并河濠等ニテ通船禁止ノ場ニテ運送船目印ノ件 二百六十丁

(參考) 陸奥國尻矢崎燈臺ニ於テ一筒ノ蒸氣霧笛ヲ設クルノ件 二百六十一丁

○學制及教育令

(改正) 五年二百十四號布告學制ヲ廢シ更ニ教育令發行 二百六十二丁

(參考) 明治六年第百十五號文部省布達廢止ノ件 二百七十二丁

(參考) 公立幼稚園書籍等設置或ハ廢止セントスル者ハ府知事縣令ノ認可ヲ經ヘキ旨 二百七十三丁

(參考) 私立幼稚園ノ保育法ハ私立學校ノ教則同様府知事縣令ニ開申スヘキ旨 二百七十三丁

(參考) 公立學校地ハ民有地第一種ノ儘ニテ免稅ノ旨 二百七十四丁

(參考) 商業夜學校ヲ廢シ庶民夜學校開設ノ件 二百七十四丁

索引官令揭示心得ノ部
索引燈明番試驗手續ノ部
索引學制及教育令ノ部

(參考) 小學補助金配布ノ件 二百七十六丁

(參考) 公立學校教則認可ヲ乞フ儀
生徒教養ノ目的等記載ノ儀 二百七十六丁

(參考) 公私學校ノ教旨府知事縣令ニ於テ弊
害アリト認ムル節又部卿ヘ稟申ノ義 二百七十七丁

(參考) 小學補助金配付ノ儀生徒ノ數等ニ據
リ適宜ノ方法ヲ設ケ伺ヒ出ツヘキ旨 二百七十七丁

(參考) 公立師範學校補助金遣拂ノ儀 二百七十七丁

(參考) 教育令第三十一條說明ノ件 二百七十八丁

(參考) 教育令第九條但書說明ノ件 二百七十九丁

(參考) 教員巡回ノ方法(文部
卿ノ認可ヲ經ヘキ旨) 二百七十九丁

(參考) 小學補助金遣拂ノ義 二百八十丁

(參考) 師範學校生徒募集ノ件 二百八十丁

(參考) 小學教員假派出ノ
者出校差止メノ義 二百八十二丁

○兵學局生徒入寮規則

(參考) 運用砲術科生徒試驗規
則中第六條改正ノ件 二百八十二丁

○官林及監守人規則

索引兵學局生徒入寮規則ノ部
索引官林及監守人規則ノ部

(參考) 山林原野ニ係ル事務取扱方ノ件 二百八十二丁

(參考) 山林局御雇ノ者出役ノ節宿泊帳ニ旅亭ノ証印徵求ノ件 二百八十三丁

(參考) 製表書体ノ件 二百八十四丁

(參考) 林區組替ノ件 二百八十五丁

(參考) 林區組替ノ件 二百八十六丁

(參考) 八年十二月地租改正局別報第九條改正ノ件 二百八十六丁

(參考) 山林原野地租改正新稅施行ノ件 二百八十六丁

○ 諸拂下規則

(參考) 八年十二月地租改正局別報第九條更正ノ件 二百八十七丁

○ 醫術開業試驗手續

(參考) 醫術試驗開場ノ件 二百八十八丁

○ 博覽會出品心得

(參考) 第二回內國博覽會事務局職制被定ノ件 二百八十八丁

(參考) 第二回內國博覽會開設ニ付各廳ヨリ出品ノ儀ハ博覽會事務局ニ照會ノ上出品可致旨 二百九十丁

索引諸拂下規則ノ部
索引醫術開業試驗手續ノ部
索引博覽會出品心得ノ部

(參考) 第二回內國博覽會諸規則被定ノ件 二百九十丁

(參考) 第二回內國博覽會區分目錄ノ件 三百十八丁

(參考) 博覽會諸規則中區分目錄並區類符號刷成ノ旨 三百四十七丁

(參考) 第二回內國博覽會規則第七條區分目錄頒布ノ件 三百四十八丁

(參考) 宮城縣下ニ於テ博覽會開場ノ件 三百四十八丁

(參考) 長崎縣下公園地ニ於テ博覽會開設ノ件 三百四十九丁

(參考) 內國博覽會出品總理員ヲ置カルノ件 三百五十丁

○徵兵令

(改正) 徵兵令改正ノ件 三百五十七丁

(參考) 徵兵令改正ニ付徵兵入費定則被定ノ件 四百六丁

(參考) 徵兵區域調査ノ義ニ付國郡區分人口取調ノ義 四百十二丁

(參考) 徵兵令改正ニ付第一後備第二後備服役年期計算ノ件 四百十三丁

(參考) 地方徵兵醫員職務概則被定ノ件 四百十五丁

(參考) 徵兵令改正ニ付調査心得ノ件 四百十八丁

索引徵兵令ノ部

(參考) 五十才未滿ノ者養子嗣子並ニ等外吏ハ改正徵兵令施行前ノモノハ檢査ニ不及旨

四百二十二丁

(參考) 徵兵事務條例ノ件

四百二十二丁

(參考) 兵卒共貫屬替其外本
人ヨリ届出方ノ件

五百五十五丁

○官金取扱規則

(參考) 爲換方命令書案第八條削除ノ件

五百五十六丁

(參考) 爲換方命令書案第十一條改正ノ件

五百五十六丁

(參考) 十一年大藏省乙第七十二號十二年同省乙第十號乙第十七號乙第三十號達中刪正增補ノ件

五百五十七丁

(參考) 爲換方命令書第十
七條中追加ノ件

五百五十九丁

(參考) 諸収入金ニ對スル天
號証書返還方ノ義

五百六十丁

○神社改正及神官僧尼教導職心得

(參考) 府縣社以下祠官祠
掌ノ等級廢止ノ件

五百六十丁

(參考) 各社神官他出入日間
ヲ過クル者届出ノ儀

五百六十一丁

(參考) 戊第二號ヲ以神佛教導職ニ達ノ旨

五百六十二丁

(參考) 教導職試補ノ義二十才未滿
ノモノハ伺ノ上申付ヘキ旨

五百六十二丁

索引官金取扱規則ノ部
索引神社改正及神官僧尼教導職心得ノ部

索引三九

索引四〇

(參考) 祠官祠掌進退各地方ノ許可ヲ經ヘキ旨 五百六十二丁

(參考) 祠官祠掌ノ等級被廢并進退願出方ノ件 五百六十三丁

(參考) 教導職試驗法取調差出方ノ件 五百六十四丁

(參考) 祠官祠掌ノ等級被廢ニ付太政官ヨリ御達ノ旨 五百六十四丁

(參考) 僧尼現數并増減表神官員數表離形改正社寺官有地境內木竹伐採員數表離形等被定ノ件 五百六十五丁

(參考) 十二年乙第三十四號内務省達中正誤ノ件 五百九十丁

(參考) 寺院住職進退ノ節辭令書交付ノ義被廢ノ件 五百九十一丁

(參考) 社寺附ノ地所建物ハ東京府ノ認可ヲ經ルニアラザレハ抵當賣買不相成ノ件 五百九十二丁

○社寺祿制

(參考) 社寺保存事務ノ儀ニ付氏子檀家總代人撰舉ノ件 五百九十三丁

(參考) 社寺遞減祿遺漏ノ分取調方ノ件 五百九十四丁

(參考) 社寺遞減祿遺漏ノ分取調方ノ件 五百九十四丁

○諸業取締規則

(參考) 湯屋取締規則改正ノ件 五百九十五丁

索引社寺祿制ノ部
索引諸業取締規則ノ部

(參考) 玉突并吹矢場開業ハ警視 六百丁

(參考) 湯屋玉突吹矢場及俳優諸藝人開廢業鑑 六百丁

(參考) 札書換願届等戸長奥印ヲ要スルノ件 六百丁

(參考) 諸營業開廢届正副ニ通テ 六百一丁

(參考) 要シ郵送ニテモ不苦旨 六百一丁

(參考) 乘合馬車營業ノモ 六百一丁

(參考) ノ底舍掃除方ノ件 六百一丁

(參考) 兔取締規則廢棄ノ件 六百二丁

(參考) 狂病犬毆殺免許人鑑札雛形ノ件 六百二丁

(參考) 十一年第二十四號警視本署達中 六百三丁

(參考) 人民願届取扱書式中刪除ノ件 六百三丁

(參考) ハ通運會社各驛人馬繼立所興廢 六百四丁

(參考) 同社ノ都合ニ任スヘキノ件 六百四丁

(參考) 上海地方ニ於テ牛疫流行 六百四丁

(參考) ニ付領事官ニ通報ノ件 六百四丁

(參考) 牛疫流行ニ付牧牛 六百五丁

(參考) 場等掃除方ノ件 六百五丁

(參考) 牛疫流行ニ付畜牛場等不 六百六丁

(參考) 潔ナラサル様注意ノ件 六百六丁

○傳染病豫防規則

索引諸業取締規則ノ部
索引牛處分心得ノ部
索引傳染病豫防規則ノ部

(参考) 海港コレラ病傳染豫防規則被定ノ件 六百六丁

(改正) 海港コレラ傳染豫防規則更正檢疫停船規則ト改稱ノ件 六百廿一丁

(改正) 檢疫停船規則中改正ノ件 六百三十七丁

(参考) 神奈川縣長浦灣并長崎港檢疫法停止ノ件 六百三十九丁

(改正) コレラ病豫防假規則更正ノ件 六百四十丁

(参考) コレラ病ヲ發スルキ醫師ノ來ル迄ニ施スヘキ心得ノ件 六百四十九丁

(参考) 航海中コレラ患者無之船舶ハ相州消毒所ニ於テ滯留ニ及ハサルノ件 六百五十一丁

(参考) コレラ患者ニ使用セシ器具消毒法ノ義 六百五十二丁

(参考) コレラ病流行ノ地方ヲ經過シ來リシ船舶相州長浦ニ於テ滯留ノ件 六百五十二丁

(参考) コレラ病流行ノ地方ヲ經過シ來リシ船舶相州長浦ニ於テ滯留ノ件 六百五十二丁

(参考) コレラ病流行ノ地方ヲ經過シタル旅客管轄境ニ留置ノ件 六百五十三丁

(参考) コレラ病流行中祭禮等ニテ多人數群集ノ義不相成旨 六百五十三丁

(参考) 本年甲第二十二號警視本署布達取消ノ件 六百五十四丁

(参考) コレラ病流行中游泳差停ノ件 六百五十四丁

索引傳染病豫防規則ノ部

(参考) コレヲ病死者埋葬地被定ノ件 六百五十五丁

(参考) コレヲ病死者埋葬地
被定ノ件取消ノ旨 六百五十五丁

(参考) コレヲ病死者
用品消毒所被定ノ件 六百五十五丁

(参考) 佃島監獄署内ニアル
避病院室一棟焼却ノ件 六百五十六丁

(参考) コレヲ避病院焼却ノ件 六百五十七丁

(参考) 傳染病者届出方ノ件 六百五十七丁

(参考) コレヲ病排泄物焼
却地改メラレノ件 六百五十八丁

(参考) コレヲ病排泄物焼
却地改メラレノ件 六百五十八丁

(参考) コレヲ病消熄ニ付
避病院閉鎖ノ件 六百五十九丁

(参考) 石炭酸使用方ノ件 六百五十九丁

(参考) コレヲ患者ニ用ヒタ
ル品類消毒法ノ件 六百六十丁

(参考) 諸工場生徒職工並旅客等コレ
ヲ病ニ感染ノモ取扱方ノ件 六百六十丁

(参考) コレヲ病検査ナル節ハ他ヨリ傳染
モシヤ自發ナルヤ取調申出ノ件 六百六十一丁

(参考) コレヲ患者届離形ノ件 六百六十二丁

(參考) コレヲ豫防掛巡査
六百六十二丁

(參考) コレヲ病者護送中消毒方ノ件
六百六十三丁

(參考) 印刷局職工コレヲ病
六百六十三丁

(參考) 馬匹飼養ノ者底舎掃除方ノ件
六百六十三丁

(參考) コレヲ豫防上ノ儀ハ各病院
六百六十四丁

(參考) 虎列刺患者及死体排泄物等送付
六百六十五丁

(參考) 今般東京地方衛生會開設中
六百六十六丁

(參考) 十一年第六十號達中巡査
六百六十六丁

(參考) 虎列刺病豫防假規則
六百六十六丁

(參考) 外國人コレヲ病感
六百六十七丁

(參考) 衛生上ノ事項ニ付テハ衛生會ヨリ各
六百六十九丁

(參考) コレヲ避病院設立ノ件
六百六十九丁

(參考) 乗客中コレヲ病者之アル節心得方
六百七十丁

(參考) コレヲ病者ノ家へ巡
六百七十二丁

(參考) コレヲ病流行中外出ノ兵卒へ下士付添ノ件 六百七十三丁

(參考) コレヲ病ハ疑似ノ症ト雖モ本年第二十三號公布ニ據リ取計フヘキ旨 六百七十三丁

(參考) コレヲ避病院設置ノ件 六百七十四丁

(參考) コレヲ避病院設置ノ件 六百七十四丁

(參考) コレヲ避病院設置ノ件 六百七十四丁

(參考) コレヲ避病院閉鎖ノ件 六百七十五丁

(參考) コレヲ避病院閉鎖ノ件 六百七十五丁

(參考) ノ旅客ニコレヲ病之アル節同宿ノ旅客ノ食費官ヨリ支給ノ件 六百七十五丁

(參考) 開拓使ニ於テ船舶檢疫法施行ノ件 六百七十六丁

(參考) コレヲ病ニ關スル事務本年東京府乙第三十五號達之通取扱ノ件 六百七十六丁

○中央衛生會職制及事務章程

(參考) 中央衛生會職制ノ件 六百七十七丁

(參考) 自今コレヲ病ニ關スル事項ハ總テ衛生會へ協議ノ件 六百八十丁

(參考) 地方衛生會規則ノ件 六百八十一丁

索引衛生會職制及事務章程ノ部

(參考) 地方衛生會閉會ノ件 六百八十五丁

(參考) 各府縣廳衛生課ヲ置ル、ノ件 六百八十五丁

(參考) 各地方へ衛生委員設ケラレノ件 六百九十二丁

○ 檢疫掛職務心得

(參考) 檢疫掛職務心得被定ノ件 六百九十七丁

(參考) 檢疫掛職務心得第五條
中交通距離日數ノ件 七百八丁

(參考) 東京地方衛生會臨時開設ノ件 七百八丁

(參考) 衛生資トハテ金七萬圓下賜ノ件 七百八丁

(參考) 東京地方衛生會開場ノ件 七百九丁

○ 禁令

(參考) 人家稠密ノ場所ニ於テ火
留石炭油製造不相成、ノ件 七百十丁

○ 巡查懲罰令

(參考) 警部補巡查待罪書差出方ノ件 七百十丁

○ 貸坐敷娼妓規則

(參考) 貸坐敷規則第九條改正ノ件 七百十一丁

索引檢疫掛職務心得ノ部
索引禁令ノ部
索引巡查懲罰令ノ部
索引貸坐敷娼妓規則ノ部

○賣淫取締罰則

(參考) 風俗取締心得第七條第八條改正ノ件

七百十二丁

○監獄則

(參考) 懲役人滿期放免及死亡ノ節原掛リ〜通知ニ及ハサルノ件

七百十三丁

(參考) 各地方監獄署及未已決監等明細書差出方ノ件

七百十四丁

○水上警察規則

(參考) 水上警察規則第三條改正ノ件

七百二十一丁

(參考) 水上警察規則第三條改正ニ付機關士以下月給被定

七百二十二丁

(參考) 水上警察規則第三條改正ノ件

七百二十三丁

○巡查召募規則

(參考) 巡查教習所設置ノ件

七百二十四丁

○警察月報送致手續

(參考) 警察月報調製送致方改正

七百二十五丁

索引賣淫取締罰則ノ部

索引監獄則ノ部

索引水上警察規則ノ部

索引巡查召募規則ノ部

索引警察月報送致手續ノ部

(參考) 警察月報表改定ノ旨内務省達ノ件 七百四十丁

(參考) 警察月報表内譯書式中追加ノ件 七百四十一丁

(參考) 警察月報表改正ノ件 七百四十二丁

○警部巡查給與規則及警察費勘定帳離形

(參考) 犯罪人拘留中諸費警察費ヨリ支辨ノ件 七百四十三丁

(參考) 警察費ヨリ可仕拂科目取調ノ件 七百四十四丁

(參考) 十一年第四十五號警視本署達ヲ廢シ巡查支給品表被定ノ件 七百四十四丁

(參考) 巡查免職轉任ノ節支給品返納區別表更ニ被定ノ件 七百四十六丁

○道路取締規則

(參考) 十二年六月第十三號達ノ但書ハ被取消ノ件 七百四十七丁

(參考) 建物等取拂跡ノ儀理立及掃除云々注意ノ件 七百四十八丁

○消防規則

(參考) 出火之節離形ノ提灯可相携旨近衛局ヨリ照會ノ件 七百四十九丁

索引警部巡查給與規則及警察費勘定帳離形ノ部
索引道路取締規則ノ部
索引消防規則ノ部

(參考) 非常並出火ノ節出署方被定ノ件 七百五十一丁

(參考) 消火夫交番夜詰云々ノ件 七百五十一丁

(參考) 消火夫應援當番割ノ件 七百五十一丁

(參考) 電信線路近傍出火ノ件 七百五十二丁

(參考) 龍吐水破損引替云々ノ件 七百五十二丁

(參考) 消火夫着用ノ半天旗提灯等別記徽章ノ件 七百五十五丁

(參考) 火勢ノ摸樣ニヨリ應援ヲ乞フ場合云々被達ノ件 七百五十八丁

(參考) 假皇居青山御所等無鑑札ニテ通行被差許ノ旨被達 七百五十八丁

○賞牌佩用及年金拜受心得

(參考) 年金渡方手續概則追加ノ件 七百五十九丁

(參考) 年金拜受ノ者改姓名等届出方ノ件 七百六十丁

(參考) 年金拜受ノ者年金証水火災等ニ罹リタル節届出方ノ件 七百六十一丁

○銀行條例

(參考) 第四百十七號百五十一國立銀行ニ於テ銀行紙幣發行ノ件 七百六十二丁

索引賞牌佩用及年金拜受心得ノ部
索引銀行條例ノ部

索引六〇

(參考) 銀行紙幣見本五圓札紛失ノ件

七百六十三丁

(參考) 振出手形發行心得ノ件

七百六十四丁

(參考) 第百五十三國立銀行於
テ銀行紙幣發行ノ件

七百六十五丁

○旅費定則

(參考) 旅費定則中増補ノ件

七百六十六丁

(參考) 旅費定則第二章第六項改正ノ件

七百六十六丁

(參考) 常備歸兵後備兵及教導團
生徒旅費概則被定ノ件

七百六十七丁

(參考) 自今便宜ニ寄リ三國通々行ノ者ハ其里
程ニ當ル旅費支給ノ旨陸軍省ヨリ達ノ件

七百六十九丁

(參考) 常備歸兵後備兵及教導團生徒旅
費概則被定ノ旨陸軍省ヨリ達ノ件

七百六十九丁

○郡區町村編制法

(參考) 麻布區外兩郡町村合併ノ件

七百七十一丁

○府縣會規則

(參考) 府縣會規則第十三號第三款改正
ニ付區會町村會等ニ改正可致旨

七百七十一丁

索引旅費定則ノ部
索引郡區町村編制法ノ部
索引府縣會規則ノ部

(參考) 牛込區々會議員撰舉
部分並人員改正ノ件 七百七十二丁

(參考) 神田區外三區一郡ニ於テ
府會議員撰舉會開設ノ儀 七百七十三丁

(參考) 數區聯合會規則中改正ノ件 七百七十四丁

(參考) 各區町村限協議費
精算書報告ノ件 七百七十五丁

(參考) 十五區共有財産處分會議開議ノ件 七百七十六丁

○ 地方税規則

(參考) コリヲ豫防費ノ儀臨時國費
ヨリ補給相成ルヘキノ件 七百七十七丁

(參考) 地方割税徵收期限ノ件 七百七十八丁

(參考) 地方税ノ儀ハ地租納
期ニ於テ徵收ノ件 七百七十九丁

○ 恩給令

(參考) 在職者恩給處分ノ件 七百七十九丁

(參考) 警視局管理ニテ出軍負傷者ノ
内傷痕再發診斷書々式ノ件 七百八十丁

(參考) 戰闘又ハ公務中傷痕ヲ受
ケ復職ノ者診斷書ノ件 七百八十一丁

(參考) 三項以上ノ恩給下賜ノ士官退職ノ節ハ恩
給下賜ノ前日迄月俸等下渡サレノ旨 七百八十二丁

索引地方税規則ノ部
索引恩給令ノ部

(參考) 三項以上ノ恩給下賜ノ士官退職ノ節ハ恩給下賜ノ前日迄月俸等下渡サレノ旨

七百八十二丁

(參考) 恩給支給方順序假定ノ件

七百八十三丁

○陸軍檢閱條例

(改正) 陸軍檢閱條例改正ノ件

七百八十三丁

(參考) 陸軍檢閱使職務條例廢止ノ件

八百七丁

○外國人內地旅行規則

(參考) 旅行免狀所持ノ外國人疾病等ノ節ハ一時泊宿セシムルモ不苦旨

八百八丁

(參考) 旅行免狀ヲ所持スル外國人泊宿ノ節届出方ノ件

八百八丁

○飲料水規則

(參考) 飲料水注意法第四項第五項改訂ノ件

八百九丁

○陸軍會葬式

(參考) 會葬式ニ掲載スル喪章除却方ノ件

八百十一丁

○國税金領取順序

索引陸軍檢閱條例ノ部
索引外國人內地旅行規則ノ部
索引飲料水規則ノ部
索引陸軍會葬式ノ部
索引國税金領取順序ノ部

索引六五

索引六六
八百十一丁

(參考) 諸貸下々金納方ノ件

○社寺寶物取調心得

(參考) 社寺ニ於テ抵當ノ物品氏子檀家
ノ書面ヲ以テ管轄廳ニ申出ノ件

八百十二丁

○司法省職制及檢事職制章程

(參考) 檢事長ヲ廢シ勅任檢事ヲ置
キ判事檢事年俸改定ノ件

八百十四丁

○諸產物共進會規則

(參考) 生糸繭茶共進會規則
第一條但書追加ノ件

八百十五丁

(參考) 綿砂糖共進會開設
ニ付規則被定ノ件

八百十五丁

○陸軍士官學校生徒入學規則

(參考) 陸軍士官學校生徒入學差
訃ノ旨府縣ニ被達ノ件

八百四十丁

(參考) 士官生徒入學差許ノ件

八百四十七丁

(參考) 諸兵卒下士ノ内ヨリ士官生徒
志願ノ者検査法等被定ノ件

八百四十七丁

索引社寺寶物取調心得ノ部
索引司法省職制及檢事職制章程ノ部
索引諸產物共進會規則ノ部
索引陸軍士官學校生徒入學規則ノ部

索引六七

本朝民鑑書目外官令

○太政官ノ部

改定律例第三百十八條拷訊刪除ノ件

八百五十丁

皇子御降誕ノ件

八百五十丁

皇子御名嘉仁ト命ケラレ明宮ト稱セラル、件

八百五十一丁

各廳收入支出勘定ノ義期限ニ至リ仕上差支候節伺出ニ及ハサル旨

八百五十一丁

海軍退隱令第五條但書追加ノ件

八百五十二丁

諸官員海外派出ノ節駐劄公使領事ニ告知ノ件

八百五十三丁

明治十二年度府縣經費大藏省達仮定ノ通確定ノ件

八百五十四丁

外務省中三等書記官三等書記生ヲ被置ノ件

八百五十四丁

文官四等以下俸給改正ノ件

八百五十五丁

大藏卿箱館出張中内務卿兼務ノ件

八百五十六丁

儲蓄備荒施設迄ハ地租延納及救助貸出等従前ノ通取計ノ儀

八百五十六丁

陸海軍經費被定ノ件

八百五十七丁

索引書目外官令太政官ノ部

索引七〇

宮内省中侍補被廢ノ件 八百五十八丁

十二年度府縣經費被定ノ件 八百五十八丁

後桃園天皇光格天皇仁孝天皇
御式年祭ノ節儀仗兵差出ノ件 八百五十八丁

皇居御造營ニ付内務省所
轄地宮内省ニ引渡ノ儀 八百五十九丁

地方官會議被開ニ付
府縣長官出京ノ件 八百六十丁

○内務省ノ部

十二年太政官第二十二號達ニ付十一
年乙第七十四號内務省達取消ノ件 八百六十丁

福島縣下猪苗代水利起業
整頓ノ上勸農局主管ノ件 八百六十一丁

明治十二年度府縣經費被定ノ件 八百六十二丁

地方官會議草案取調掛設置ノ件 八百六十二丁

地方官會議草案取調掛設置ノ件 八百六十二丁

○警視本署ノ部

第五方面一分署移轉ノ件 八百六十三丁

警視局官員出頭退廳時限ノ件 八百六十三丁

索引書目外官令内務省ノ部
索引書目外官令警視本署ノ部

索引七一

警視局官員出頭退廳時限ノ件

八百六十三丁

第一方面第四分署類焼ニ付警視第一病院ニ事務所被設ノ件

八百六十四丁

警視局本官々吏宿所門札書式被廢ノ件

八百六十五丁

警視署員見聞ノ事件申報ノ儀尙一層注意スヘキノ件

八百六十五丁

六等以上帶勳ノ者出署ノ節門内乘馬スルヲ得ルノ件

八百六十六丁

會場掛出席無之節演說ノ主意國安ニ妨害アリ
一看認ルルキハ具上スヘキ旨各分署ニ達ノ件

八百六十七丁

監獄病院并出張所位置移換ノ件

八百六十七丁

警部補巡查病氣ノ節施藥給リ方ノ件

八百六十八丁

警視局員病氣引籠ノ節以來警視醫員ノ診斷書ニ限ラサルノ件

八百六十九丁

吊慰法第二條第三條改正協議ノ件

八百六十九丁

○大藏省ノ部

民有地内用悪水路及溜池等ノ興起ノ分敷地々租減除ノ件

八百六十九丁

荒地帳開懇地缺下方ノ季取調帳荒地起返届差出方ノ件

八百七十一丁

酒造検査費渡方ノ件

八百七十二丁

荒地帳開墾地畝下半年取調帳荒地起返屆差出方ノ件

八百七十三丁

○陸軍省ノ部

共武政表離形并説明書ノ件

八百七十四丁

軍功アル者ト雖ニ罪破廉恥ニ係ル者ヘハ賞與不相成旨

八百七十九丁

官員臨時事務等勉勵ノ節賞與ノ件

八百八十丁

工兵方面會計官定員改定ノ件

八百八十一丁

士官下士一官内ニ二等アル者定員ノ件

八百八十二丁

陸軍費用區分概則中給與ノ部ヘ一科目増加ノ件

八百八十二丁

士官學校生徒俸給食料支拂方ノ件

八百八十三丁

陸軍病院入兵士食料支拂方ノ件

八百八十四丁

暑氣酷烈ニ付六週間午後ノ操練ニ休止ノ件

八百八十四丁

暑氣酷烈コレヲ病蔓延ニ付兵卒外出ヲ禁ルノ件

八百八十五丁

軍律正條ナキモノト雖モ改定律令ニ依リ一定ノ判例アルモノハ伺出ニ及ハサルノ件

八百八十六丁

看病夫傳染病ニ感染死亡者埋葬料ノ件

八百八十七丁

索引書目外官令陸軍省ノ部

- 教導團概則中但書追加ノ件 八百八十七丁
- 常備兵補欠人員入營ノ件 八百八十八丁
- 兵器彈藥檢查一員派出ノ件 八百九十丁
- 步兵科士官ニシテ未タ隊附ノ勤務ヲ爲サ、ル者技術復習ノ件 八百九十丁
- 常備歩兵次員補欠ノ件 八百九十二丁
- 本省各局書籍要求手續書ノ件 八百九十二丁
- 後軍野營等ノ旅費支給ノテ先發ノ件 八百九十四丁

射的檢閲ノ件

八百九十五丁

射的檢閲ノ件

八百九十五丁

東京鎮臺砲兵大隊名稱改正ノ件

八百九十六丁

陸軍士官下士ノ内二等増加ノル者

八百九十七丁

明治十一年度出納閉鎖

八百九十八丁

看病卒服務ノ概則

八百九十九丁

看病卒服務ノ概則

八百九十九丁

索引書目外官令陸軍省ノ部

索引七七

越中島射的定日改定

九百一丁

鎮臺兵補缺相成ノ件
補充服役ノ者ハ違ノル旨

九百一丁

○海軍省ノ部

患者免役故籍假規則改正ノ件

九百一丁

○工部省ノ部

函館港碇泊ノ諸船燈船ノ件
五百間以外ニ投錨可致ノ件

九百三丁

○司法省ノ部

刑事未決件數表差出方ノ件

九百四丁

諸同書ハ各裁判所長チ
經テ差出スルノ件

九百五丁

諸裁判所經費勘定
帳差出期限ノ件

九百五丁

拷訊ノ儀ニ付注意ノ件

九百五丁

懲役終身以上上等裁判所へ批可
ヲ乞フ節ハ宣告案ヲ副へキ旨

九百六丁

軍人軍屬常軍兩律ノ犯罪並發スル
節處分ノ義ニ付千葉縣へ指令ノ件

九百七丁

索引書目外官令海軍省ノ部
索引書目外官令工部省ノ部
索引書目外官令司法省ノ部

索引七九

○宮内省ノ部

勅使參向内規ノ件

九百九丁

十三年御歌會始御題ノ件

九百十丁

後桃園院天皇御祭式
ニ付奏任官參拜ノ件

九百十二丁

○開拓使ノ部

後志國壽都郡中哥
驛ノ問道更正ノ件

九百十三丁

後志國壽都郡中哥渡島國津輕郡福山同
檜山郡江差ノ街道中驛所廢止ノ件

九百十四丁

函館ヨリ東海岸通リ渡島國茅部
郡森村ニ至ル各驛中廢止ノ件

九百十五丁

清野勝五郎外三名乗船
ノ儘行衛知レサル旨

九百十六丁

○東京府ノ部

各裁判所出頭退廳時限ノ件

九百十六丁

東京府官員出頭退廳時限ノ件

九百十七丁

上野公園地ニ御臨幸被聞届ノ件

九百十七丁

上野公園地ニ御臨幸延引ノ件

九百十七丁

索引書目外官令官内省ノ部
索引書目外官令開拓使ノ部
索引書目外官令東京府ノ部

上野公園地へ御臨幸ノ件

索引八二
九百十八丁

東京府廳員出頭及退散時限ノ件

九百十九丁

東京府知事忌引中大書記官代理ノ件

九百十九丁

東京府廳昇降時限ノ件

九百十九丁

東京府知事除服出仕ノ件

九百二十丁

東京府知事轉任ノ件

九百二十丁

新潟縣長高村地所建物
質入割印帳焼失ノ件

九百二十三丁

神戸港出入蒸氣船吹
笛鳴鐘規則改正ノ件

九百二十三丁

茨城縣北浦湖中ニ寄洲浚方ノ件

九百二十二丁

十二年乙第八號同十號同二十
一號同三十三號達中改正ノ件

九百二十三丁

東京府少書記官宣下ノ件

九百二十六丁

鹿兒島港竿燈費取立高改定ノ件

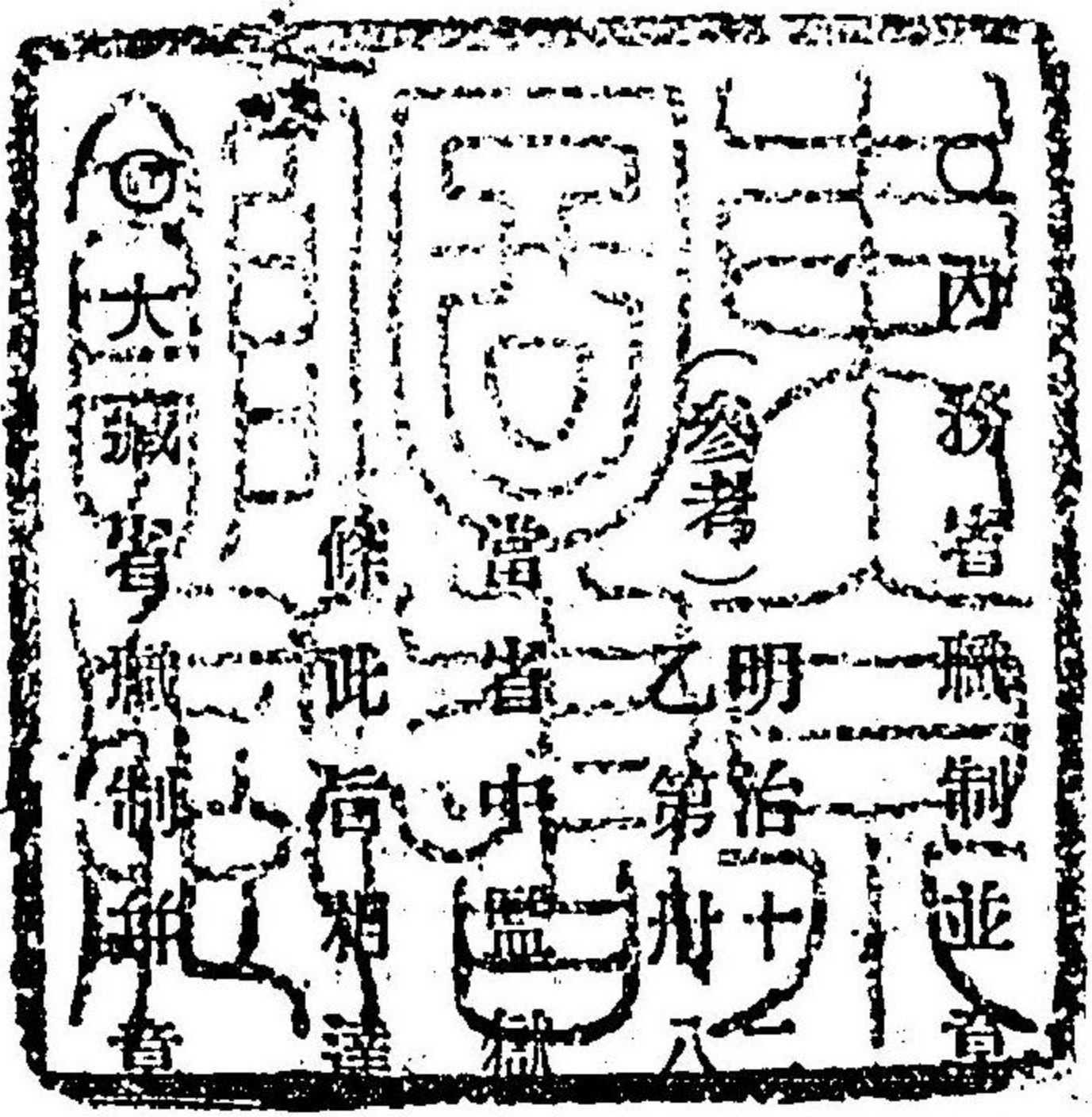
九百二十六丁

京橋區燒跡ノ儀當分家作見合ノ件

九百三十丁

京橋區燒跡河岸地
建物補理見合ノ件

九百三十丁



程 同 乾 卷 七 丁 附 錄 卷 一 丁 參 看

年 七 月 十 四 日 內 務 省 號 以 府 縣 達

局 置 囚 獄 懲 役 等 事 務 管 理 候 事

程 三 乾 卷 十 八 丁 附 錄 卷 六 參 看

(參考) 明 治 十 二 年 十 二 月 十 九 日 大 藏 省 乙 第 四 十 六 號 以 府 縣 達

今 般 當 省 中 議 案 課 廢 更 書 記 議 案 兩 局 置 租 稅 局 上 列 候 條 此 旨 相 達 候 事

內務省職制並章程
大藏省職制並章程

(参考) 明治三十二年十月十日大藏省

今般大坂廣島熊本名古屋仙臺ノ五ヶ所へ當省租稅局

出張所設置候條此旨相達候事

○陸軍省職制并章程 乾卷五十 一丁參看

(改正) 明治十二年十月十日太政官第三十九號ヲ以テ官省院使府縣へ達

陸軍職制別冊ノ通り被定候事

陸軍省職制事務章程別冊ノ通り改正候事陸軍武官々

等別紙之通改定候事

右相達候事

陸軍職制

明治五年二月兵部省ヲ廢シ更メテ陸軍省並ニ海軍省ヲ置ク爾來陸軍ノ事一切陸軍省ニ統轄シ六軍管並ニ陸軍所屬ノ諸官廨悉ク本省ニ隸屬シテ分管スル所ナシ而ルニ明治十一年十二月ニ至リ更ニ參謀本部ヲ置キ其十二年一月ニ至リ又監軍本部ヲ置キ六軍管ヲ分轄セシム是ニ於テ陸軍省並ニ各部管轄隸屬ノ法舊轍ニ異ナル者アリ其分管ノ事務ニ至リテハ陸軍省參謀本部監軍本部六管鎮臺等ノ條例アリテ之ヲ委悉スト雖モ猶管轄屬ノ法ニ於テ明亮ナラサル者アリ故ニ之ヲ陸軍職制ニ著ハス

第一條 帝國日本ノ陸軍ハ一ニ天皇陛下ニ直隸ス

第二條 陸軍卿ハ陸軍省ノ事務ヲ總判スルヲ掌リ其

陸軍省職制並章程

管掌ノ事務ニ於テハ擔保ノ責ニ任ス

第三條 陸軍省ハ陸軍所管ノ軍人軍屬ヲ統理シ進退
黜陟會計給與一切ノ事務ヲ綜理スルノ所トス

第四條 陸軍省ハ卿ノ官房ノ外五局ニ分テ總務局人
員局砲兵局工兵局會計局トシ總務局ハ將官一人會
計局ハ監督長一人餘ハ大佐各一人ヲ置キ局務ヲ總
理セシム其委詳ハ陸軍省條例并ニ陸軍會計部條例
等ニ在リ

第五條 帷幄ノ中參謀長一人ヲ置キ機謀ニ參畫シ邊
防征討ノ事ニ於テ籌策布置ヲ掌ラシメ陸軍省ト脈
絡ヲ通シテ間斷ナカラシム

第六條 參謀長ハ參謀本部ノ長トシ陸軍參謀科ノ將

校ヲ統轄シ併セテ兵畧ニ關スル圖誌ヲ總理ス

第七條 凡ソ事軍令ニ關スル者ハ參謀本部奏聞參畫
ノ責ニ任シ親裁ノ後陸軍卿之ヲ奉行ス

第八條 戰時ニ至リ監軍中將若クハ特命司令將官ヲ
シテ一方ノ任ニ當ラシムルニ方テハ親裁ノ軍令ハ
直ニ之ヲ監軍中將若クハ特命司令將官ニ下シ帷幕
ト相通報シテ間斷ナカラシム

第九條 參謀本部ハ惣務課ノ外管東管西二局ヲ置キ
管東ハ東部以東管西ハ中部西部以西ノ地理ヲ考覈
シ以テ用兵ノ圖畧ニ供セシム

第十條 其他參謀本部ニハ伴屬課ヲ置テ地圖編纂測
量翻譯文庫ノ事ニ從事セシム其委詳ハ參謀本部條

例ニ在リ
軍用電信隊ハ參謀本部ニ屬シ有事ノ日之ヲ師旅團各部ニ分派シ提理一人中少佐ヲ以テ之ニ任シ其事務ヲ総理セシム

第十一條 大疆ノ下監軍本部ヲ置キ區メ三部トナシ東部ハ第一第二軍管中部ハ第三第四軍管西部ハ第五第六軍管ヲ統括ス然レモ平時巡回檢閲ヲ除クノ外監軍本部ニ會同ス

第十二條 管軍中將ハ各其管下軍隊ノ檢閲ヲ掌リ軍令ノ行下ヲ關知シ出師名簿ヲ作為シ以テ戰時ニ至リ直チニ二軍管ノ旅團ヲ統率シ方面ノ寇賊ニ禦ルヲ任トス

第十三條 管軍中將ノ部内ニ各其幕僚參謀官ヲ置ク而シテ毎年定期ノ檢閲ハ各其部ヲ交換シテ之ヲ行フ其委詳ハ管軍本部條例並ニ陸軍檢閲條例ニ在リ
第十四條 六鎮臺ノ司令官一人少將ヲ以テ之ニ任ス其職平時其管内ヲ鎮シ戰時ハ旅團ノ長トシテ管軍中將即チ師團長ニ屬シ方面ノ寇賊ニ禦リ若クハ征討ノ役ニ服ス

第十五條 各鎮臺ニ幕僚參謀官並ニ會計部ヲ置キ其司令官ニ屬ス其委詳ハ鎮臺條例ニ在リ

第十六條 鎮臺管下師管ノ營所ニハ營所司令官及ヒ後備軍司令官ヲ置キ其現役兵隊ハ該隊長之ヲ統ヘ

地方ノ便宜ヲ量リ分營ヲ置キ分遣隊ヲ駐劄セシメ
陸軍哨所トナス委詳ハ師管營所官員條例後備軍官
員服務概則ニ在リ

第十七條 侍中武官ハ別テ三等トナス一等侍中長一
人陸軍少將ヨリ任シ或ハ近衛ノ將官ヨリ之ヲ兼ス
其二等ハ奉詔官トス各兵科ノ佐官ヨリ之ニ任ス其
中奉詔官長一人參謀科大佐ヨリ之ニ任ス

第十八條 侍中武官ノ職ハ閱兵親臨等ノ時ニ當リ旨
ヲ奉シ令ヲ宣スルヲ掌ル其親征ノ時ニ至リテハ其
職務一ニ將官ニ屬スル傳令使ノ如シ其委詳ハ侍中
武官條例ニ在リ

第十九條 近衛ノ都督將官一人其職近衛諸兵隊ヲ統
御シ禁圍ヲ守衛スルヲ掌ル

第二十條 近衛幕僚參謀官並ニ會計部ヲ置キ其都督
ニ屬ス其委詳ハ近衛條例ニ在リ

第二十一條 凡ソ參謀科佐尉官ハ或ハ侍中武官陸軍卿
ノ官房總務局又監軍部近衛鎮臺ノ幕僚參謀部ニ服
務シ或ハ參謀本部ニ在テ地理ノ講究圖誌兵史ノ纂
輯ニ從事ス

第二十二條 要塞部ノ佐尉官ハ要塞諸城堡並ニ海岸砲
臺ノ守備ヲ分轄シ所在軍管ノ司令將官ニ隸屬ス

第二十三條 憲兵部ノ佐尉官ハ各府縣ヲ分轄シ風紀ヲ
維持シ非違ヲ糾察スルヲ掌ル別ニ方法ヲ設ケテ陸

軍卿ニ統轄ス

第廿四條 歩兵科ノ佐尉官大中佐ハ聯隊少佐ハ大隊大尉ハ中隊中少尉ハ小隊ヲ統へ皆近衛鎮臺ノ將官ニ分屬ス

第廿五條 騎砲工輜重兵隊附佐尉官ハ其統屬ノ法率ネ歩兵ニ同シ

第廿六條 歩騎砲工輜重兵ノ無隊將校ハ猶他ニ分屬スル所有リ其法此後ニ開列スルカ如シ

第廿七條 近衛鎮臺ニ屬スル幕僚ハ參謀科佐尉官及ヒ各兵科ノ尉官ヨリ任ス副官傳令使文庫主管武庫主管ノ數員ヨリ成リ皆其將官ニ隸シテ服務シ而シテ其參謀科ハ常ニ本部ト相通報シテ問斷ナカラシム

第廿八條 近衛鎮臺ニ屬スル會計部ハ計算糧食被服病院ノ四課ニ區分シ會計副監督ヲ以テ部長トシ陸軍省内會計監督長之ヲ統轄ス

第廿九條 其計算課ハ計算出納ヲ掌リ糧食課ハ糧食菽秣ノ支給及ヒ囚獄徒刑場ノ事務ヲ掌リ被服課ハ被服陣營具ノ支給ヲ掌リ病院課ハ病院會計ノ事務ヲ掌ル

第三十條 其他陸軍諸官廳ニ屬スル分會計ハ陸軍省會計局ヨリ會計軍吏以下ヲ分派シテ之ヲ經理セシメ又諸兵隊へモ會計軍吏以下ヲ分派ス而シテ隊中ノ會計ニ於テ其會計軍吏ハ其責ニ任ス

陸軍省職制並章程

第卅一條 軍醫部ハ二科ニ分チ一ヲ醫官トシ一ヲ劑官トス而シテ皆軍醫總監ニ統屬ス

第卅二條 軍醫總監ハ軍醫本部ノ長トシテ軍醫監ノ補佐ニ因テ醫員ノ黜陟轉任且其他ノ醫務ヲ議定シ陸軍卿ニ上中スルヲ掌ル

第卅三條 軍醫監ハ職掌總監ニ亞キ總監ヲ輔ケ醫務ヲ參決シ又陸軍本病院ノ長ニ任ス

第卅四條 軍醫正ハ近衛鎮臺ノ病院ニ於テ病院長ノ職ニ任シ或ハ各科ノ聯隊ニ附屬シ其醫事ヲ統轄ス

第卅五條 軍醫以下ハ各科ノ兵隊ニ附屬シ或ハ病院ニ出仕ス

第卅六條 其劑官モ亦等級ニ從テ藥劑ノ事ヲ分管ス

ル軍醫ノ如シ

第卅七條 馬醫監ハ陸軍馬匹ノ健全ヲ保護スルヲ掌リ且ツ病馬廐ノ長ニ任ス其馬醫以下ハ各科ノ兵隊ニ附屬シ或ハ軍馬局病馬廐ニ出仕シ又鎮臺ノ調馬廐ニ分派シテ馬匹ノ疾病ヲ療治ス而シテ皆馬醫監ニ統屬ス

第卅八條 凡ソ陸軍罪犯ヲ處スルハ司法ノ常律ニ異ナルヲ以テ東京ニ於テ陸軍裁判所ヲ設ク

第卅九條 其裁判長ハ少將若クハ大佐ヨリ之ニ任シ又評事數員ヲ置キ參坐ノ將校ト共ニ罪案ヲ判決スルヲ掌ル

第四十條 鎮臺下ニ在テハ罪犯アル毎ニ軍法會議ヲ

起シテ之ヲ判決ス其尉將校閉門以下下士以下徒以下ニ止ル者ハ直チニ之ヲ處斷スルヲ得

第四十一條 陸軍上下等武學生ヲ教育スル爲メニ士官學校戸山學校並ニ教導團ヲ置ク

第四十二條 士官學校ハ中少將一人ヲ以テ校長ニ任シ戸山學校及ヒ教導團ハ少將各一人ヲ以テ其長ニ任シ武學生教育ノ事務ヲ總掌セシム

第四十三條 校團長ノ下佐尉官並ニ大小ノ教官ヲ置キ編制訓練各科ノ技術ヨリ戰法戰略ヲ講明セシム

第四十四條 校團ニハ時月ヲ以テ學生ヲ考課シ陸軍各課將校下士ノ欠員ヲ補足シ又普通學ノ課程ヲ定メ募集試験ノ上選抜シテ武學生ニ補セシム

第四十五條 凡ソ砲工ニ兵ハ各其官地ヲ分テ兵器藥

藥ノ貯蓄建築ノ作業ヲ區處ス之ヲ砲工ノ方面ト云

フ各方面ニハ各本科ノ大中佐一名ヲ以テ提理ニ任

シ砲兵ニ在テ武庫火藥庫ヲ分轄シテ其分配支給ヲ

掌リ工兵ニ在リテハ方面内ノ工事ヲ董督セシム

第四十六條 凡ソ陸軍ノ銃砲兵仗彈藥諸器械ヲ製造

スル爲メニ地宜ヲ圖リ砲兵工廠ヲ置キ砲兵科大中

佐一名ヲメ其提理ニ任ス其製造シタル者ハ之ヲ方

面ノ庫内ニ輸送シテ収藏セシム

第四十七條 監牧保馬陸軍々馬一切ノ事務ヲ掌ラシ

ム爲ニ東京ニ於テ軍馬局ヲ置キ騎兵科大中佐一名

ヲ以テ其長ニ任ス諸鎮臺ニハ調馬廐ニ置テ騎兵科

尉官ヲシテ其調習ヲ監セシム

第四十八條 諸學校教導團軍醫本部裁判所砲工方面
砲兵工廠軍馬局病馬厩ト皆陸軍省ニ隸屬ス

第四十九條 凡ソ陸軍ニ於テ事重大ノ關係ヲ有シ若

クハ創造始設ニ關スル等ノ件ニ至テハ率テ臨時若

クハ永久ニ各種ノ會議ヲ開キ當該各科ノ委員ヲ置

テ之ヲ議定セシム

第五十條 近衛各鎮臺ノ下軍樂隊ヲ置ク然レモ現今

ハ唯教導團ニ一隊ヲ置キ團長ノ管理ニ屬ス

陸軍省職制事務章程

第一章

第一條 陸軍省ハ陸軍々々軍屬ヲ統括シ進退黜陟會計

給與ニ關スル事務及ヒ近衛鎮臺要塞並ニ憲兵ニ關ス

ル軍務ヲ總理ス

第二條 省内局ヲ分チ局内課ヲ分チ各其事務ヲ分管ス

其法左ノ如シ

其一 官房(陸軍卿ノヲテ視ル所ニシテ一切ノ文書皆

此ニ於テ受附ス)

其二 總務局(庶務徵兵並ニ制規ノヲテ掌トル)

其三 人員局(將官參謀步兵騎兵憲兵輜重兵ノ各科及

ヒ馬醫部軍樂部ノ人員調査ノヲテ掌ル)

其四 砲兵局(砲兵材料ノ筭數並ニ其人員調査ノヲテ

掌トル)

陸軍省職制並章程

其五 工兵局(工兵材料ノ算覈並ニ其人員調査ノヲ掌トル)

其六 會計局(陸軍一切會計供給ノ事務ヲ總轄シ並ニ會計部軍醫ノ人員部調査ノヲ掌トル)

第三條 官房ハ參謀大佐一人ヲ房長トシ參謀中佐一人ヲ以副長トシ其下ニ傳令使並ニ課僚數名ヲ置キ卿ノ差使並ニ文書ノ受付外來人應接ノヲ任ス

第四條 總務局ハ將官一人ヲ置キ局務ヲ統轄シ會計局ヲ除クノ外省內各局ノ事務ヲ監視ス其他人員砲工ノ三局ハ大佐各一人會計局ハ監督長一人ヲ置キ其局務ヲ總理セシム而シテ局內ノ諸課ハ率テ本科ノ將校ヲ以テ其長トシ課務ニ就カシム

第五條 陸軍卿ハ陸軍將官ヲ以テ之ニ任シ本省ノ事務ヲ總理ス

第六條 卿ハ其管掌ノ事務ニ於テ太政大臣ニ對シテモ當否便不便ヲ辨明スルヲ得而シテ亦擔保ノ責ニ任ス

第七條 其制可ナクハキ條款ハ卿之ヲ上奏シ專決ヲ得ル者ハ便宜處分スルノ權ヲ有ス

第八條 陸軍士官以上ノ進退ハ太政官ニ於テ之ヲ命ス
ト雖モ其勤惰ヲ察シ能否ヲ別テ黜陟ヲ具狀スルハ卿ノ任トス其文官奏任以上亦之ニ准ス

陸軍省職制並章程

第九條 文武判任官以下ハ其所管長官ノ具狀ニ由テ卿之ヲ黜陟スルヲ得

席シテ其利害ヲ辨論スルヲ得

第十一條 陸軍大輔ハ其職掌卿ニ亞キ卿ヲ輔ケテ其事
務ヲ調理ス

第十二條 陸軍大輔ハ省中管掌ノ事務ニ於テハ卿ニ代
リ參朝シテ便否ヲ辨明スルヲ得其元老院ニ於ケル
又同シ

第十三條 少輔ハ大輔ニ亞ク其職掌皆大輔ニ同シ

第十四條 大少輔ハ陸軍將官ヲ以テ之ニ任ス其一人ハ
總務局長トシテ省内成規アルヲニ方テハ之ヲ決行シ
卿事故アルキハ一切ノ事務ヲ代理スルヲ得

第十五條 陸軍省内諸局及ヒ諸課ノ長官ハ武官ヨリ任
スルヲ例トス然レモ時宜ニヨリ出仕ノ稱ヲ以テ文官

ヨリ任スルヲモアルヘシ

第十六條 凡ソ本省外陸軍官廳長官ヲシテ直ニ陸軍卿
ニ隸スル者左ノ如シ

- 近衛都督 士官學校長 戸山學校長 教導團長 侍
- 中長 軍醫總監 裁判長 砲兵各方面提理 砲兵工
- 廳提理 工兵各方面提理 軍馬局長 軍醫監

第二章

省中ノ事務大別シテ上下二款ト爲ス上款ハ卿ノ意見
ヲ具シ上奏裁可ヲ經テ然ル後施行ス下款ハ卿ノ異見
ヲ以テ專行スルヲ得

上款

第一條 陸軍ノ經費定額ヲ裁定スル事

陸軍省職制並章程

第二條 陸軍省ノ職制ヲ改革シ及ヒ諸局諸官廨ヲ廢合
スル事

第三條 徵兵令内ノ條款改正ノ事

第四條 軍律内條款改正ノ事

第五條 軍人軍屬ノ賞典並ニ特赦恩減ノ事

第六條 士官閉門以下ヲ除キ將校軍法ヲ犯ス者ヲ論決
スル事

第七條 下士以下軍律ニ於テ死罪ニ抵ル者ヲ處決スル
事

第八條 官員及ヒ生徒ヲ外國ニ派遣スル事

第九條 奏任官以上任免ノ事

第十條 勅任官並ニ佐尉官ニ職課ヲ命スル事

以上

下款

第一條 管掌ノ事務ニ於テ條則ヲ立テ方法ヲ示シ命令
諭告ヲ發スル事

第二條 省内諸局課及ヒ附屬官廨ノ條例制規ヲ定メ或
ハ之ヲ改正スル事

第三條 外國人傭入ノ事

第四條 徵兵ノ檢査編入若クハ補充兵後備兵ニ編入ス
ル事

第五條 變災若クハ他ノ事故ニ由リ一時屯兵ヲ轉換ス
ル事

第六條 兵學生徒ノ撰入考課ノ方法ヲ定ムル事

陸軍省職制並章程

第七條 兵仗器械ノ利便ヲ撰ニ彈藥製造ノ方法ヲ立ル事

第八條 屯營廩舍練兵場製作場等ノ建築修繕ヲナス事

第九條 士官降官以上並ニ下士以下死罪ヲ除クノ外軍法ノ諸犯ヲ處決スル事

第十條 會計軍醫馬醫部ノ長官上士官並ニ文官奏任官ニ職課ヲ命シ判任官以下任免ノ事

第十一條 文武奏任官以下ヲ各地方ニ派出スル事

第十二條 陸軍ノ事務諸官省ニ交渉スル者ニ就テ其ノ主司ニ照會スル事

第十三條 定額金ニ基キ陸軍一切ノ費用ヲ辨給スル方法ヲ設立スル事

以上

(參考) 明治十二年十一月四日太政官書記官正誤

本年(十月)第三十九號達陸軍省職制章程上款第六條中將校閉門以下ヲ除キトアルハ士官閉門以下ヲ除キノ誤

同下款第九條 中將校トアルハ士官ノ誤

(參考) 明治二十五年十月十日陸軍省達

今般陸軍職制事務章程御改正ニ付テハ從前ノ第一局ハ總務局第二局ハ人員局第三局ハ砲兵局第四局ハ工兵局第五局ハ會計局ト改稱相成候條此旨相達候事

陸軍省職制並章程

但第一局法則掛ハ自今單ニ法則掛ト稱シ總務局管理ト可相心得事

(參考) 明治十二年十月十日陸軍省達第七十六號ヲ以テ陸軍一般ニ達

砲兵本支廠ヲ被廢更ニ砲兵第一方面砲兵第二方面東京砲兵工廠大坂砲兵工廠ヲ被置候條此旨和達候事
但砲兵第一方面本署並東京砲兵工廠ハ東京ニ砲兵第二方面本署並大坂砲兵工廠ハ大坂ニ置候事

(參考) 明治十二年十月十日陸軍省無號ヲ以テ各隊ニ達

陸軍武官々等表改正ニ付改正官名ノ通換稱候様別紙ノ通太政官ヨリ御達相成候條此旨和達候事

陸軍省

今般陸軍武官々等表改正候ニ付テハ從前任官ノ輩官名ノ儀ハ各自既定ノ兵科ニ依リ改正官名ノ通換稱候儀ト心得ヘシ此旨和達候事

明治十二年十月十日 太政大臣三條實美

(參考) 明治十二年十月十日陸軍省無號ヲ以テ陸軍一般ニ達

陸軍武官官等表改正ニ付改正官名ノ通換稱候様別紙ノ通太政官ヨリ御達相成候此旨和達候事
今般陸軍武官官等表改正候ニ付テハ從前任官ノ輩官名ノ儀ハ各自既定ノ兵科ニ依リ改正官名ノ通換稱候儀ト可心得此旨和達候事

今般陸軍職制事務章程御改正ニ付テハ從前ノ第一局ハ總務局第二局ハ人員局第三局ハ砲兵局第四局ハ工兵局第五局ハ會計局ト改稱相成候條此旨相達候事但第一局法則掛ハ自今單ニ法則掛ト稱シ總務局管理ト可相心得事

砲兵本支廠ヲ被廢更ニ砲兵第一方面砲兵第二方面東京砲兵工廠大坂砲兵工廠ヲ被置並大坂砲兵工廠ハ大坂ニ置候事

陸軍軍醫本部ヲ被置候條此旨相達候事但陸軍本病院自今軍醫本部ノ被管タルニキ事

(參考) 明治十二年十月十日陸軍省無號ヲ以陸軍一般ニ達

陸軍省條例別冊ノ通改正候條此旨相達候事

陸軍省條例

第一條 (卿官房) (卿一人) 房長參謀大佐一人 副長參謀中佐一人 步兵少佐一人 砲兵少佐一人 傳令使步兵大尉一人 同騎兵大尉一人 同工兵大尉一人 課僚大尉一人 同中少尉四人 本省ニ到來シタル公文書牒ノ受領開封日記ノ記注並ニ送達ノ事 天皇並ニ三職ト擬議往復ニ係ル書類取纏メノ事 驛遞飛信送達ノ事務取扱ノ事 卿ニ面謁人取扱ノ事 新聞紙發兌ノ諸社ト通報ノ事 未タ施行ニ至ラサル事柄若クハ秘密ナル事柄取扱

陸軍省職制並章程

ノ事
其事柄省内各局ニ属セサルモノ取扱ノ事

○總務局(庶務、徴兵、勳章、記室、武學、軍法、報告、翻譯)局長
將官一人 副長參謀大佐一人 次長參謀中佐一人
○庶務課課長中少佐一人 課僚書記國內警保ノ爲
メ若クハ人民ノ風紀世上ノ靜謐ヲ維持スル爲メ官
省院使府縣ノ諸廳並ニ陸軍所屬ノ官廳其他ヘノ往
復取扱ノ事
省中庶務取扱ノ事
文官撰擧ノ事務取扱ノ事
本省ノ印章預ノ事
三兵トモ相通スル條例布令ヲ分配スルニ方リ其中

意味取違易キカ或ハ最モ注意スヘキ條目アルトハ
尙別紙ヲ附シ之ヲ講解シ其條例内ニ改正スヘキ條
目モ同様取扱ノ事

全國一般ノ法度ヲ全軍ニ布達シ軍人ノ法度之ト相
牴牾セサラシムル様ニ注意ノ事

判任官任免辭令並ニ准士官以上命課及ヒ特達辭令
喚狀ノ事

諸制規ニ係ル事柄ニ付取調ノ事

省屬諸官廳等ニ爭論起リタルトキ斷判ノ扱ノ事
軍人ノ恩給扶助取扱ノ事

電信取扱ノ事

○徴兵課課長中少佐一人 課僚書記入兵一切ノ法

例草稿並ニ召募ノ事務取扱ノ事
 豫備軍及ヒ後備軍ニ係ル條規取調ノ事
 徵募猶豫ノ許可免役歸休轉役等ノ取扱ノ事
 豫備軍並ニ後備軍復習事務取扱ノ事
 豫備軍後備軍並ニ國民軍人員調ノ事
 補充兵並豫備徵兵人員調ノ事
 家族扶助取扱ノ事
 廢兵ニ係ル事務取扱ノ事
 再役兵ニ係ル事務取扱ノ事
 入兵並豫備軍後備軍召集費用調ノ事
 ○武學課課長參謀少佐一人 課僚書記 士官學校
 戶山學校教導團諸生徒並ニ校團人員教授會計上ニ

係ル事務取扱ノ事
 聯隊學校ノ事務取扱ノ事
 軍隊ノ諸儀式取扱ノ事(會葬ハ此限ニ非ス)野營演習
 行軍演習其他軍隊學術傳習ノ事務取扱ノ事
 軍人服制ニ係ル事務取扱ノ事
 ○軍法課課長少佐一人 課僚書記民事並刑事ニ就
 テ官省院使府縣其他ヘノ往復ニ係ル事務取扱ノ事
 軍律ニ上ラサル輕犯處斷取扱ノ事
 徵罰隊ニ係ル事務取扱ノ事
 恩赦並ニ恩減ノ取扱ノ事
 軍法會議ノ編制及其裁判ニ係ル諸般ノ事務取扱ノ
 事

囚獄 = 係ル事務取扱ノ事

軍人軍屬ノ行刑ヲ部類分ニシ並ニ徒刑場囚獄ノ人員調及未決罪囚ノ人員調ノ事

戰時俘虜ノ取扱並經理ノ事

靖國神社 = 係ル事務取扱ノ事

陸軍會葬並埋葬 = 係ル事務取扱ノ事

遺失物並ニ拾物紛失品 = 係ル事務取扱ノ事

○勳章課課長少佐一人 課僚書記軍人軍屬勳功調

査ノ事務取扱ノ事

勳級 = 叙スル詔書勳章並ニ從軍記章ノ下賜取扱及

記注ノ事

勳章並ニ從軍記章授與ノ諸式及同上ニ係ル布達命

令取扱ノ事

叙勳ノ軍人軍屬名簿並ニ從軍記章授與ノ人名簿編

纂ノ事

叙勳者賜金並ニ外國ノ勳章及從軍記章ノ受領其他

裝飾 = 係ル事務取扱ノ事

勳章並ニ從軍記章受授諸般ノ事務 = 就テ官省院使

府縣及陸軍所屬官廨ニ往復取扱ノ事

軍人軍屬ノ褒賞 = 係ル事務取扱ノ事

○記室課課長少佐二人 課僚書記

詔勅並ニ欽定ノ報告文ノ上簿ノ事

諸詔勅諸諭書法度諸條例諸決議及諸回達ノ類聚藏

納ノ事

省内諸文書並草案等ノ施行濟タルハ悉ク收藏ノ事
 陸軍日誌ノ蒐輯出版ノ事
 法例ノ改増加ハ其順次ニ從テ本書ニ挿入シ之ヲ陸
 軍諸官廨へ送達ノ事
 陸軍諸官廨等ヲ廢セラレタルキ其廢止以前ノ記錄
 並ニ臨時設置ノ事務解任ノ後其書類納藏ノ事
 退職罷役ノ將校並ニ右同等官ノ連名錄ノ記注ノ
 事
 布達全書並諸成規編纂ノ事
 陸軍官(職)員錄ノ記注出版ノ事
 陸軍官人ノ員數ヲ官省院使等ヨリ要求アルキ取調
 送達ノ事

○報告課課長一人(課長ノ官等ヲ定メス其時々等
 級ノ上ナル者ヲ以テ之ニ命ス)
 課僚書記陸軍報告一切ノ事務取扱ノ事
 陸軍各局諸官廨時々ノ報告ヲ成規ニ照シ調査ノ事
 陸軍全体諸般ノ報告ヲ一週年毎ニ編纂上木シ官省
 院使府縣及陸軍諸官廨へ配布ノ事
 局内諸報告及陸軍々人軍屬ノ総員表ヲ製シ成規ニ
 從ヒ陸軍卿へ上呈スル事
 陸軍報告ニ係ル事柄ヲ官省院使府縣其他外國等ヨ
 リ要求アルキ取調送達ノ事
 太政官ニ於テ編纂スル政表ニ係ル條款ヲ取纏メ上
 達ノ事

○翻譯課課長一人（課長ノ官等ヲ定メス其時々等級ノ上ナル者ヲ以テ之ニ命ス）
 課僚書記佛英獨等各國ノ書籍ヲ其所長ニ從翻譯並ニ往復書翰ノ淨書草按原文ノ事務取扱ノ事
 佛語英語獨語等各其所長ニ因テ通辨ニ從事スヘキ事
 雇外國教師ニ係ル事務取扱ノ事
 ○人員局「步兵」「騎兵」局長「步（騎）兵大佐一人 次長步（騎）兵中佐一人 步兵課課長步兵少佐一人 課僚書記將官並ニ參謀佐尉官名簿編纂ノ事待命將校並同等官ノ管轄ニ係ル事務取扱ノ事
 步兵隊ノ人員調ノ事

步兵科將校下士名簿編纂ノ事
 步兵隊ニ係ル事務取扱ノ事
 軍樂隊人員調ノ事
 軍樂部下士以上名簿編纂ノ事
 憲兵隊ノ人員調ノ事
 憲兵科將校下士名簿編纂ノ事
 憲兵隊ニ係ル事務取扱ノ事
 局中庶務取扱ノ事
 ○騎兵課課長騎兵少佐一人 課僚書記 騎兵隊ノ人員調ノ事
 騎兵科將校下士名簿編纂ノ事
 騎兵隊ニ係ル事務取扱ノ事

國內各牧馬場ニ就テ其設方經理計算並種馬畜場ノ經理ノ事

馬醫部下士以上名簿編纂ノ事

馬醫生徒人員並ニ教授會計上ニ係ル事務取扱ノ事

陸軍所用馬匹ノ支給並ニ交換取扱ノ事

同上ノ馬匹牝騾其他畜獸曳擔ニ供スヘキ者ヲ買入並ニ其費用計算ノ事

陸軍將校並ニ右同等官乗用ノ馬匹拂下少或ハ買上テ等取扱ノ事

馬僚並ニ育養ニ係ル規則ノ取扱ノ事

蹄鐵工並同生徒人員調ノ事

蹄鐵工ヲ乘馬諸隊ニ配布並ニ蹄鐵生徒入舍及教授

ノ事務取扱ノ事

輜重兵隊並輜重輸卒ノ人員調ノ事

輜重兵科將校下士名簿編纂ノ事

輜重材料取調ノ事

進軍ノ時糧食被服陣營諸具彈藥器械橋工諸具病車

諸料貨幣木櫃並軍中驛遞諸般運輸ノ規則取調ノ事

砲兵局人員「材料」局長砲兵大佐一人「次長砲兵中佐

一人」人員課「課長砲兵少佐一人」課僚書記砲兵隊人

員調ノ事

砲兵科將校下士名簿編纂ノ事

諸工生徒人員并ニ教授會計取扱ノ事

砲兵隊ニ係ル事務取扱ノ事

局中庶務取扱ノ事

○材料課課長砲兵少佐一人「課僚書記」砲兵方面ニ係ル事務取扱ノ事

砲兵工兵廠并摸型庫ニ係ル事務取扱ノ事

大砲輜重ノ製造ニ係ル事務取扱ノ事

要塞并ニ海岸砲臺ニ大砲兵器ノ備ヘ附ノ事

諸兵隊ニ兵器備付ノ事

彈藥ノ支給輸送ノ事

陸軍所用ノ兵器馬具及ヒ軍刀製作ノ事

陸旗并ニ其他ノ旗號製作取扱ノ事

砲兵所用ノ廩舎ノ創建修理并ニ經費ノ事

砲兵所屬ノ土地家屋受領交換ニ付テノ事務取扱ノ事

砲兵ニ屬スル諸費計算ノ事

兵器製造并砲廠工舎ニ屬スル經費計算ノ事

工兵局人員「材料」局長工兵大佐一人「次長工兵中佐

一人」人員課課長工兵少佐一人「課僚書記」工兵隊並工

夫小隊ノ人員調ノ事

工兵科將校下士名簿編纂ノ事

工兵方面ニ係ル事務取扱ノ事

工兵銃兵ニ屬スル器具及ヒ材料ノ取調ノ事

城堡要塞圖誌調査製作並ニ諸地圖工具圖及圖誌庫

主管ノ事

工兵隊ニ係ル事務取調ノ事

局中事務取扱ノ事

○材料課「課長工兵少佐一人」「課僚書記」

城堡並ニ陸軍諸建物工作調査ノ事務取扱ノ事

陸軍諸工作製圖ノ事

陸軍用地並ニ諸官廨建物受授交換ニ就テ事務取扱

ノ事

諸工業材料ニ係ル經費計算ノ事

○會計局「庶務」「計算」「糧食」「被服」局長「監督長一人」「副長

監督一人」「次長」「一等副監督三人」「庶務課」「課長」「二等副

監督一人」「課僚書記」「計算課」「課長」「二等副監督一人」

「課僚書記」「糧食課」「課長」「二等副監督一人」「課僚書記」被

服課「課長」「二等副監督一人」「課僚書記」「會計局各課ノ條

例ハ別ニ會計部條例アルヲ以テ爰ニ之ヲ掲ケス

第二條 省内ノ事務ハ局ヲ別チ課ヲ分ツテ前條ノ如

シト雖モ其管理連絡ノ綱紀ニ至テハ左ニ開例シテ

各其本分ヲ踰越ス可カラサルヲ示ス陸軍卿ノ官房

ハ最上ニ位スト雖モ總務局ト通シテ同一ニ視為シ

事務分課ニ至テハ前條ニ開載スルノ外ナキ事卿疾

病事故ニテ不在ノハ總務局長代テ其事務ヲ攝ス

ヘキ事

房長ハ卿ノ參謀ニ供シ卿手限ノ書記ハ首トシテ之

ニ任シ其他卿ノ意ヲ承テ差使ニ供スルハ傳令使ノ

任タル事

傳令使卿ノ名ヲ以テ或ハ諸官人ニ解訖ヲナシ或ハ

書類草按等ヲ徵求スルハ卿親ラスルト同様ナル

へシ又申告スヘキコニ就テハ諸官人必ス仔細ヲ悉シ
シ應答スヘキ事
房長ハ卿不在ノキハ總務局長ヲ輔佐シテ事務ニ服
シ若シ總務局長不在ノキハ代テ其局ヲ管理スヘキ
事

第三條 總務局長ハ特ニ局務ヲ總載スルノミナラス
其位權卿ニ次ク者ニシテ卿不在ノキハ何事ニヨラス
尋常ノ事務ハ之ヲ執行ヒ成丈ケ事務捗リ成就ニ至
ルヲ旨トシ總テ之カ爲ニ調印スルハ苦シカラサル
事

總務局長ハ自餘ノ局長ニ委任シタル事務日々夫々
ニ施行スルヤ否ヤヲ身親ラ按檢シ取分ケ應酬書類

謬誤ナキヤ否ヤヲ見届クヘキ事

總務局長ハ此條例ニ着シタル通り心ヲ附テ諸官人
銘々ノ勤務ニ服從シテ怠惰ナキヤ否ヤヲ監視スヘ
キ事

總務局長不在ノキハ房長之ヲ代理スヘキ事
人員砲兵及ヒ會計ノ局長ハ直ニ卿ニ隸スト雖モ平
常事務ニ於テハ悉ク總務局長ニ對シ事務ノ責ニ任
スルヲ其本分トスル事

第四條 諸局長建議スヘキコトアラハ直ニ卿ニ申告ス
ルヲ定例トス然レモ其事重大ナルカ又ハ卿ノ所望
ニヨリテハ書面ニテ申述スヘキ事
書面ニテ申述スルキハ其事ニツキ委曲ニ理由ヲ解

叙シ手ツカレ卿ニ呈スヘキ事
 諸局長ハ委任ヲ受ケタル局務ニツキ各其課長ヲ監
 視シテ局内ノ事務遲滯ナク施行スルヤ否ヲ按檢ス
 ヘキ事
 房長不在ノキハ副長共事務ヲ代理スヘキ事
 人員砲兵工兵ノ局長不在ノキハ其次長次長不在ノ
 キハ課長先官ノ者局務ヲ代理スヘキ事
 會計局長不在ノキハ副長副長不在ノキハ次長ノ内
 先官ノ者局務ヲ代理スヘキ事
 第五條 各課長ハ課事ヲ管理シ局長ヨリ受クル所ノ
 簡牘報告等ニ就テ局長ノ旨ヲ取り草按ヲ作り或ハ
 自己ノ所見アレハ局長ト相議シ又ハ報告文書類ノ

記注員數ノ算定等悉ク僚屬ニ命シ其順序先後ヲ正
 シテ指揮ヲナスヘキ事
 總テ其課ニ關スル事件又ハ局長ヨリ命シタル事件
 ハ意ヲ注シテ逐一ニ整理スヘキ事
 課長不在ノトキハ課僚ノ内其官等ノ高キ者局長ノ
 命ニ由テ之ヲ代理スヘシ
 第六條 各課ノ僚屬ハ上官ヨリ申付ラレタル書類ヲ
 書キ輯ノ或ハ書入ヲナシ或ハ淨書ヲナシ或ハ勘合
 點檢シ或ハ抄寫ヲナシ總テ局内ノ諸職其課長ヨリ
 委任スルヲ專務トスヘキ事
 事務極メテ繁多ナルキハ定刻限ノ外夜中迄モ事務
 ニ服シ局長并ニ課長之ヲ要スルキハ徹宵ニモ至ル

〜キ事
書類其外物品ヲ他へ分配送達スル事平常定時限ニ
行ヒ兼ルキハ之ヲ司ル僚屬夕刻迄モ居殘ルヘシ猶
局長ヨリ之カ爲ニ手傳ニ命スル者モ同様タルヘキ
事

各局ノ僚屬ハ他局他課ニテ事務多端ナルニ依リ手
傳ヲ要スルキハ素ヨリ己レカ本務ニ非ルヲタリモ
其手傳ヲナスヘキ事

第七條 第一條ニ示ス如ク各局各課其事務ヲ區分ス
ト雖モ非常ノコトニテ事務ニ多端ナルキハ卿ノ存意
ニテ甲局又ハ甲課ノ官人ニ乙局又ハ乙課ノ事務ヲ
兼任セシメ或ハ臨時ニ他局他課ノ助手ヲラシムル

事

諸局長ハ局内ノ事務殊ニ繁多ニテ自然遲滯ニ至リ
畢竟手餘ルト認ムルキ局長其課長ト熟議シ總務局
長ニ請テ手傳ヲ取ルヘキ事
局長並ニ課長ハ諸僚屬出仕ノ時間事務ノ取扱ニ於
テ事々都合能整頓ニ至ルヤ否且同僚中不遜ナル言
語又ハ粗暴ナル舉動ナキヤ否ニ心ヲ附ケ禮法ニ戻
リタルコトハ之ヲ制止スヘキ事
陸軍ニ屬セサル者ハ勿論陸軍所屬ノ者タリモ各官
廳ノ長次官並ニ其差使スル者ノ外ハ該局長ノ許ナ
クシテ漫リニ局内ニ入ルヲ許サズ況ヤ書類ノ寫帖
ヲ與フル等ハ嚴禁タル事

諸官人ハ其上官ニ對スルノ外自身取扱フル事件或
 ハ今取扱フ事柄又ハ其主意ヲ他言說話スルヲ嚴禁
 タリ總テ官事ハ尤モ綿密ニ秘スヘキ事
 人ノ身上ニ係ルヲニ就キ忠告懇諭スルハ秘事ヲ暴
 露スルノ例ニアラスルルキハ懇切ニ匡救スルヲ以
 テ本意トナスヘキ事
 諸官人ハ日々退出ノキ自身取扱ヒタル書類物品ヲ
 收藏シ少モ仕掛ケ殘シタルヲナキ様ニ注意スヘシ
 尤モ其事柄仕果シ難キハ此例ニ非ス
 局内箱櫃ノ鍵ハ日々退出ノキ各常ニ取扱タル場所
 ニ藏メ置クヘキ事

第八條 毎日午前第十時(或ハ九時)本務時限ニ應シ之

ヲ定ム(總務局長卿ノ官房ニ至リ要務ヲ商議シ而テ
 後ニ人員砲兵工兵會計ノ局長(局長不在ナレハ副長)
 ト共ニ官房ニ集會シ本日ノ事務ヲ商議シ他ヨリ到
 來ノ文書ヲ各自ニ分賦シ其區處應酬ノ方法下令布
 告ノ分配物品ノ轉移支給繳納等ヲ決定シ各本務ニ
 服行セシムヘキ事

右會議終テ各局長本局ニ歸リ其文書若クハ事務ヲ
 分テ各其本分ノ課長ニ付托シ其區處スヘキ主意ヲ
 陳說シ若クハ調フヘキ事件ヲ指定シ若シ物件ノ轉
 移配賦等ノヲニ至テハ詳カニ其方法ヲ開示シ尙課
 長ト熟議ヲ遂ケ其事務ニ就テ處置ノ手脱ケナクテ
 條ノ遺漏ナキ様ニ商量斟酌スヘキ事

課長之ヲ受ケ事ノ不可ナキ者ト常例ニ係ル者ハ速
 カニ其僚屬ニ命シ各其事ニ從ハシムヘシ
 課長若シ事時宜ニ適セサルカ若クハ遺漏ノケ條等
 アリト思ハ、尙局長ヘ申告シテ再命ヲ待ヘキ事
 第九條 卿ノ官房内ニテ課長ニ命シ專ラ簡牘ノ出入
 チ司ラシメ總テ本省ヘ到來シタル書類ハ此課僚ニ
 テ開封スヘキ事
 右ノ課ニテ簡牘開封ノ後之ヲ房長ニ呈シ房長一閱
 ノ後事ノ常例ニ係リ或ハ小事件ニシテ卿ノ處決ヲ
 要セス總務局長ニ委任セラレ、者ハ(總務局長)若ク
 ハ(人員)(砲兵)(工兵)(會計)等ノ印ヲ捺シ卿ノ處決ヲ要ス
 ルモノハ更ニ(非)ノ字ヲ押印課僚ニ渡ス事

課僚ハ簡牘ノ順次ヲ逐ヒ受領日記ニ其ノ事柄ヲ手
 短ニ某々ノト記シ右肩ニ受領先後ノ號數ヲ初メ
 ヨリ一貫セル番號ノ順次ニ記シ(非)ノ字ヲ押印セサ
 ルモノハ各其指示スル文字ニ照シ直ニ其局ニ送附
 スヘシ非ノ字ヲ押印シタル書類ハ再ヒ之ヲ房長ニ
 呈シ置キ卿ノ參省ヲ待テ集會ノ前ニ房長ヨリ卿ヘ
 呈スヘキ事
 到來ノ書類ハ受領日記ヘ記注スルト同時ニ朱字ニ
 テ到來ノ日附ト受領日記ト同シ番號トヲ記シ各自
 ノ局ヘ送附スルノ後各局ニテ局中ノ本日記ニ其全
 文等委曲ニ記注シ摺本日記ノ番號ヲ本書ノ受領番
 號ノ下ヘ總ノ百五十四會ノ六百八十五等ノ號數ヲ

記シ一週毎ニ纏メテ記室ニ送付シテ藏ムヘキ事
 房長書類點閱ノキハ書法式ニ則リ書樣格ニ合スル
 ヤニ注意シ若シ其書ナルカ又卿其事柄ヲ秘セント
 欲スル者ナルキハ之ヲ撰ヒ抜キテ別ニ貯ヘ置キ直
 ニ卿ニ呈シ其事柄ハ親ヲ密事日記ニ記注シ一貫ノ
 番號トナ記シ卿見了ラハ官房内ニ貯フヘキ事
 第十條 其事柄創立新建ノコトニシテ陸軍立法ニ係
 ル者ハ陸軍會議ニ付スルヲ法トス然レモ其事柄唯
 處置ノ上ニ係リ卿直ニ之ヲ決セテ姑ラク其事柄
 ノ關涉スル局ニ下シ處置ノ方向緩急等ヲ議セシム
 ル者ハ局長課長ト議シ其利害得失當否ヲ悉シテ卿
 へ申告スヘキ事

其事柄數局數課ニ跨カル者ハ各局長若クハ各課長
 集會商議シテ可否ヲ献替スヘキ事
 其事柄ニ就キ他ノ將校以前其事ニ關カリ事情ニ關
 カリ事情ニ委シキ者アラハ臨時之ニ諮訪スヘキ事
 商議決定シタルキハ草按ヲ立テ局長之ニ檢印シ卿
 ノ處決ヲ請フヘキ事
 卿ノ許可ヲ請フ爲メニ進呈スル草按ハ毎朝房官へ
 渡シ置クヘキ事
 右草按ニ卿許可ノ印ヲ押シタル上ニテ之ヲ總務局
 長ノ許ニ致スヘキ事
 右草按ニ就テ總務局長別ニ異見ナキキハ之ニ檢印
 シテ速ニ施行スヘシ若シ見込アラハ卿ニ其事由ヲ

申告シテ改正スヘキ事
總務局長ハ其處置國家ノ大典ニ戻ルナク陸軍ノ體裁ニ損スルコトナク總テ各省事々ノ定則ト牴牾スルコトナク書法式ニ則トリ書樣格ニ合スルヲ視テ檢印ヲ捺スル者ナレハ總テ其事件上ノ過差ハ己レ其責ニ任スヘキ事

第十一條 各局共ニ受領シタル書類ノ中尙多少ノ應酬ヲ經サレハ處決スヘカラサル者ノ如キハ其事由ヲ別ニ記シ置クヘキ事
右ノ如キ書類ハ毎月二日各局ニテ目錄トシ總務局長ノ許ニ致シテ其報答ヲ催促スヘキ事
毎年一月四月七月十月ニハ各局長ヨリ卿へ稽緩目

録ヲ呈スヘシ此目錄中ニ總テ其月ノ一日以前ニ受領未タ決議ニ至ラサル書類ヲ其課毎ニ目錄トナシ且其次ニ決議ノ遲滞ニシ由ヲ手短ニ書シ課長點檢濟ノ爲ニ檢印スヘキ事

第十二條 總テ書牒按票何ニテモ陸軍諸官廨並ニ官省院使府縣等へ送達スヘキ者ハ卿准可檢印濟ニ總務局長之ニ檢印シ終レハ局中庶務課ニテ之ヲ淨書シ卿ノ官房内へ致シ送達日記へ何々ノ事ト手短ニ記シ日記シ日記ノ一貫ノ番號ヲ記シ送達ニ供スル事
太政官へノ奏文等卿親テ呈上スル者ハ房長承テ密事日記ニ記注ス其他ハ總テ前ノ例ニ從フヘキ事
帳簿計算目錄契合附屬書類其他表若クハ圖面等ハ

各其本局ニテ之ヲ淨書シ且其原文ヲ本局ノ送達本
 日記ニ綴リ込ニ淨書ノ寫帖ヲ總務局ニ送致シテ總
 務局ニ於テハ別ニ淨書セス唯送達ノ文ヲ附スヘキ
 事
 賣買ノ事ニ係リ商人ト往復シ或ハ物品ノ員數事件
 ノ有無等ヲ調フル爲メニ陸軍所屬官廨ト相報答シ
 又ハ人撰ノ試業ニシテ其局ヨリ直チニ應酬スヘ
 キ事
 右ノ外公文ニ屬スル者ハ縱ヒ細瑣ノ事件タリモ直
 ニ往復スルヲ許サス必ス陸軍卿ニ申請スヘキ事
 書類ノ原書卿若クハ總務局長ノ檢印濟サル者ハ設
 リニ淨書送達スヘカラス但シ特命アラハ格別ノ事

右ニ就テ房長其責ニ任シ檢印濟タルヤ否ヲ綿密ニ
 見届クヘキ事
 送達ニ極リタル書類ハ官房ニ致ス前ニ總務局庶務
 課ニテ僚屬二人之ヲ校合シ差謬ナキ証トシテ共ニ
 小印ヲ紙端ニ押スヘキ事
 總務局長並ニ房長ニ己レニ授リタル書類ヲ其日ノ
 内ニ淨書シテ送達ニナリタルヤ否ヤニ意ヲ用ヒ延
 引ストモ三日内ニハ必ス成シ了ルヲ要シ若シ事繁
 忙ニテ手ニ餘ルト思ハ、僚屬一二人ヲ數刻又ハ夕
 刻迄局内ニ殘ラシムヘキ事
 送達シタル書類ノ本類ノ本書ハ總務局ニテモ或ハ
 他ノ諸局ニテモ綴テ一纏トナシ一週毎ニ記室ヘ納

ムヘキ事

第十三條 一記室ハ分テ新舊二庫トナス事記室新庫
 ニハ十年以内ノ書類ヲ藏シ年々十一月目ニ當ル書
 笈ハ先ツ點檢ヲ經テ後ニ記室舊庫ニ移シ藏ムヘキ
 事

記室ニ藏メタル書類ハ之ヲ出スコトヲ許サス若シ必
 用ナルキハ總務局長ノ許可ヲ得テ證書ヲ作り之ニ
 其書類ノ番號並ニ年月日局名當人姓名等ヲ明細ニ
 記シ引替受取ルヘキ事
 舊庫ヨリ書類ヲ出スキハ八日限りニ必ス返納スヘ
 キ由テ証書ニ書入ルヘキ事
 記室ヲ成ヘク整々スル爲ニ其書類ノ事件殊ニ關係

多ク諸部ノ往復ヲ歷テ事濟ニナル者ハ格別其外事
 濟ノ書類定期ノ外一ツモ局中ニ留置ク可カラサル
 事

右事濟延引ニナルヘキ書類ハ其事ニ關リタル局長
 ヨリ其書類ノ目錄ヲ作り受領日記ノ番號ヲ記シ終
 リニ檢印ヲ押シ之ヲ記室課ニ送ルヘシ又記室課ニ
 テハ一ヶ月ノ終リ毎ニ右ノ目錄ヲ照シ催促シ本書
 ヲ納ムルキハ點檢シテ記書目錄ヲ返スヘキ事書類
 中ノケ條或ハ其事柄ヲ更ニ各局ニ於テ要スルコト
 ルキハ既ニ記室ニ納ルモ其局長ヨリ再ヒ之ヲ取出
 スコトアルヘシ但シ該局ニ於テハ必八日以内ニ寫取
 リ本書ヲ記室ニ返納スヘキ事

卿ノ官房ノ受領及ヒ送達日記ハ一ヶ月間ヲ一括ト
 ナシ其終リニ房長檢印ヲナシ記室ヘ納ムヘキ事
 一括トナシタル日記ニハ絶エテ他ノ書類ヲ混シ又
 書入等ヲナスヘカラス若シ房長ノ命ナルトキハ之
 ナ書載セ其終リニ再ヒ檢印ヲ押スヘキ事
 記室ニ納ムル受領ノ本書ハ受領日記ノ號次ニ從フ
 テ輯集シ送達ノ文書ハ各局ノ送達日記ノマ、ニテ
 之ヲ輯集スヘキ事
 輯集セル冊子ノ題號ハ何年第幾號何月何日ヨリ何
 月何日迄ト記シ書牘ノ多寡ニ從ヒ或ハ一週一月或
 ハ數週數月大小其宜キニ從フヲ要スル事
 新舊庫ノ書類參照ニ便ナル爲メ別ニ其事柄ノ概目

ヲ類集シ索引ノ冊子ヲ備ヘ置クヘキ事

第十四條 諸官人總テ日々午前九時出頭午後四時退

散トス猶其時々ノ布達ニ從フヘキ事

休暇ハ日曜日其外一月一日ヨリ全三日迄全五日新
 年宴會全八日陸軍始全三十日 孝明天皇祭二月十
 一日紀元節四月三日 神武天皇祭春分日春季皇靈
 祭五月六日靖國神社祭十月十七日神嘗祭秋分日秋
 季皇靈祭十一月三日天長節全六日靖國神社祭全廿
 三日新嘗祭十二月廿九日ヨリ全三十一日迄ハ常例
 休暇日トス他ノ臨時休暇ハ其時々布達ニ及フヘキ
 事

每局課僚一人書記一人各順番宿直スヘシ尙事故ア

ルキハ別段總務局長ヨリ達スヘキ事

(參考) 明治十二年十月十五日陸

軍省無號ヲ以テ各隊ヘ達

陸軍々醫本部ヲ被置候條此旨相達候事

(參考) 明治十二年十月十六日陸軍省達

乙第八十二號ヲ以陸軍一般ヘ達

官房服務概則別冊ノ通相定候條此旨相達候事
但本文概則相定候付テハ從前ノ官房官員服務概則
ハ廢棄ト可相心得事

官房服務概則

第一條 官房ノ官僚ハ房長副長及ヒ傳令使並ニ課僚

トス其掌トル所ハ一ノ文書ヲ受領送達シ外來人ノ
應接等トチ殊ニ房長ハ房內官僚ヲ管轄シ其勤惰能
否ヲ監視スヘシ

第二條 天皇並ニ三職ト擬議往復ニ係ル事件ハ房長
卿ノ意ヲ承ケ其草案ヲ作ルヘシ其他諸向ヨリ到來
スル文書事柄ノ省內何レノ局ニモ屬セサル者ハ房
長自ラ其指令回答接ヲ作ルカ若クハ傳令使ヲシテ
之ヲ書セシムヘシ

第三條 第二十七條ニ顯シタル非ノ印ヲ捺シタル文
書ハ省內主務ノ諸局ニ回議セシメシ後諸局ニ於テ
指令回答等ノ文接ヲ取調差出シタルキハ房長之ニ
調印シ卿ニ呈シ卿檢印ノ上總務局長ニ送致スヘシ

但最初非ノ印ヲ捺スル者ト雖モ其事柄變換シ卿
ノ決ヲ要セサルニ至ル者ハ第四條ノ例ニ準ス

第四條 其非ノ印ヲ捺セサル文書ハ大率通常小事件
ニシテ其裁決ハ總務局長ニ代理セシムルヲ以テ諸
局回議ノ後指令回答等ノ文接ヲ差出タルキハ房長
調印ノ上直ニ總務局長ニ送致スヘシ

但シ最初小事件トシテ非ノ印ヲ捺セサル者ト雖
モ其事柄變換シ卿ノ決ヲ要スルニ至ル者ハ尙第
三條ノ例ニ準ス

第五條 凡諸向ヨリ到來ノ文書指令回答ヲ要スル者
ト雖其事柄全ク通常小事件ニ係ル者ノ處分ハ總務
局長ニ代理セシムルヲ以テ房長調印ノ上直ニ同

局ニ送致スヘシ

第六條 諸局ニ於テ取調タル指令回答接ノ如キモ房
長別ニ意見アルキハ直ニ其局ニ合議シ改正セシ
メ或ハ卿ニ其旨趣ヲ申告スヘシ

第七條 凡陸軍部内各官廨及ヒ各府縣等ヨリノ願伺
ノ類ハ卿裁決ノ上總務局庶務課ニ於テ其指令ノ旨
趣ヲ朱書シ當該官廨ニ下付スル爲メ官房ニ送り來
ルキハ課僚之ヲ受領シ房長ニ呈ス房長一閱シ其指
令ノ月日ノ下ニ卿ノ官印ヲ捺シ課僚ニ付シテ送達
セシムル第三十一條ノ例ノ如シ

第八條 凡部内諸官員ノ進退黜陟ニ係ル事件ノ未タ
施行ニ至ラサル者ハ房長首トシテ之ヲ取扱ヒ之カ

爲辭令ノ草案ヲ作り及ヒ喚狀ヲ出サシムル事等ハ直チニ總務局庶務課長ニ指揮スルヲ得ヘシ

第九條 諸官省院使府縣等ヨリ現ニ本省管轄タル者及ヒ元陸軍ニ奉仕スル者ヲ任用スル等ノコトニツキ照會之アルキ其差支ノ有無ハ卿親カラ其管長ニ下問スルヲ除クノ外ハ直チニ之ヲ房長ヨリ問合スヘシ

第十條 諸官省ヨリ佐官宛ニテ到來スル文書ニ應答シ或ハ諸官省書記官宛ニテ小事件ノ問合ヲナスハ房長ノ或ハ名ヲ以テスヘシ但佐官宛ニテ到來スル文書ト雖モ定例ナキカ或ハ重立タル事件ハ卿宛ニテ到來スル者ニ準シテ

取扱フヘシ

第十一條 太政官達及ヒ諸向ヨリノ報告ハ房長調印シ卿ニ呈シ卿檢印ノ上總務局長ニ送致スヘシ

但瑣末ノ事件ニテ卿ノ覽ヲ要セサルモノハ房長調印ノ上直ニ總務局長ニ送致スヘシ

第十二條 官房内ヘハ部内各官廳長次官並ニ其差使スル者ヲ除クノ分ハ許可ヲ得スシテ出入スルヲ禁止ス若シ卿ニ謁見ヲ請ハント欲スル者ハ先ツ傳令使ヲ以テ其由ヲ上申シ指令ヲ待ツヘシ

第十三條 房長不在ノキハ副長其事務ヲ代理シ若副長欠員ノキハ臨時卿ヨリ命セラル、者迄或ハ傳令使佐官ノ故參ノ者之ヲ代理スヘシ

第十四條 凡奏任官以下任補或ハ就職等本省ニ於テ達スヘキ者ノ辭令書其新任ハ傳達所ニ於テ傳令使ヨリ授與シ其他ハ總テ官房ニ於テ房長之ヲ授與スヘシ

但封書ヲ以テ其所管長官ニ付スヘキ者ハ此限りニアラス

第十五條 凡準士官下士並ニ文官八等以下十七等以上ハ房長ノ奉行ヲ以テ之ヲ任補スル者トス

第十六條 傳令使ハ卿ノ命令ヲ傳達シ卿限りノ簡牘往復ヲ掌リ面謁人ノ取扱及ヒ外來人ノ應接ヲ爲スヘシ

第十七條 凡部内諸官進退ニ係ル文書ハ傳令使ノ受

領日記ニ記注シ之ヲ房長ニ呈スヘシ

第十八條 其進退ニ係ル文書ノ指令及辭令ハ傳令使之ヲ日記ニ記注シ本人長官ノ許ニ送致スヘシ

第十九條 每朝卿ノ出省時限ニ先テ傳令使其邸宅ニ至リ諸命令ヲ受クヘシ

第二十條 卿出省ナキモ房長ヨリ申告スヘキコトアレハ傳令使ヲシテ卿ノ所在ニツキ陳述セシムルヲ例トス

第二十一條 馬車及ヒ省内臨時用ノ爲メ備フル所ノ軍馬ヲ諸向ヨリ拜借願出タルモハ其事由ヲ詳ニシ貨渡シノ証ヲ附與スヘシ

第二十二條 卿不在等ニテ總務局長卿ノ代理タルモ

ハ傳令使其代理タル總務局長ノ命ニ服スルヲ猶卿ニ於ケルカ如シ

第二十三條 課僚ハ諸文書ノ受領送達及ヒ受領送達兩日記ノ記注房長ヨリ進呈スル文書記注諸規則布達類ノ編冊及ヒ備付諸物品並圖書ノ格護等ヲ掌トルヘシ

第二十四條 課僚中大尉若クハ其欠員ノハ故參ノ中尉ハ課僚ノ事務ヲ幹理シ諸事失誤ナキ様注念シ職務上房長ニ對シ其責ニ任スルモノトス

第二十五條 凡ソ諸願伺届等ヲ受領スルキハ課僚之ヲ點檢シ文格式ニ合セス或ハ附屬書類物件遺落等アルキハ房長ニ申告シ更ニ整理ノ上差出スヘキ地

チナスヘシ

第二十六條 府外各官廳並府縣等ヨリ郵便ニテ到來スル簡牘ノ送達目錄アル者ハ其件員ヲ照査シ目錄ニハ落手月日ヲ朱書シ落手人ノ自印ヲ証シ便宜ニ返送スヘシ

但送達目錄ヲ付シ來ラサル者ハ端書郵便ヲ以テ受領ノ証ヲ送ルヘシ

第二十七條 凡諸向ヨリ到來スル文書ハ課僚之ヲ受領シ房長ニ呈ス房長一閱ノ上其關係ノ局等ヲ指定セル印ヲ捺シ課僚ニ付ス本書ノ同印ヲ其上ニ捺シ以テ他日ノ考証ニ供ス

第二十八條 非ノ印ヲ捺セサル文書ハ日記ニ記注ノ

上各其ノ指定ノ文字ニ照シ直ニ其局ニ送付シ非ノ
印アル者ハ房長ノ許ニ返致スヘシ

第二十九條 凡諸向ヨリ到來スル文書房長一閱シ其
事柄ノ參謀本部監軍本部近衛局東京鎮臺砲兵第一
方面東京砲兵工廠工兵第一方面本署士官學校戸山
學校教導團軍醫本部裁判所軍馬局病馬廐等ノ官廨
中ニ關係シ其意見ヲ問フヘキ分ハ各其指定ノ印ヲ
捺シ課僚ニ付ス課僚ハ受領日記ニ記注ノ上總務局
ニ送致スヘシ

第三十條 凡諸向ヨリ到來スル文書正副二通アル者
ハ課僚之ヲ綴合シ房長ニ呈ス房長ハ其副書ニ捺印
スルヲ第二十七條第二十九條ノ法ノ如クシ課僚ニ

付ス課僚ハ受領日記ニ記注シ正副共同番號ヲ付シ
其副書ハ第二十八條第二十九條ノ如クシ正書ハ直
ニ總務局ニ送致スヘシ

第三十一條 凡諸向ニ文書ヲ交付スルキニ當リ本書
ニ附屬スヘキ書類並ニ物件等遺落無之哉ヲ仔細ニ
點檢シ了テ其紙端ニ捺印シ總テ送達目錄ニ其番號
ヲ記シテ送付シ落手人ノ自印ヲ証セシメ以テ後日
ノ証ニ供ス

但府外各官廨並ニ府縣等伺ノ指令濟及ヒ本省ヨ
リノ達書等ヲ送付スルコトハ送達目錄扣牒ヲ製シ
其書面ニ添帶シタル送達目錄ニ落手人ノ自印ヲ
証シ返送シ來ルカ又ハ別ニ領收ノ証ヲ送り來ル

印ヲ擦スヘシ
キハ送達目錄扣帳ハ仔細ニ照査シ了テ照査済ノ

第三十二條 東京府ヲ除クノ外各府縣ニ全員ヲ送付スルコトハ盡ク内務省ニ付托スルヲ以テ其添書ヲ總務局ヨリ送り來ルキ之ヲ會計局主管ノ課長ニ示シ金員ヲ受取リ同省ニ送致スヘシ

第三十三條 凡部内各管廳ヨリノ伺書金額ニ係ル者ハ伺濟ノ節正書ハ共同出タル該官廳ニ下付シ副書ハ會計局ニ送ルヘシ

第三十四條 凡伺書指令濟ノ節ハ受領日記ニ參照シ其ク條ノ上濟ノ印ヲ捺シ其月日ヲ記スヘシ

第三十五條 太政官布告達書本省日記書冊表面其他

摺物鎖臺方面府縣等ニ送付スヘキ者ハ重量二百目ヲ限リ一束ニシ郵便ニテ遞送シ多數ノ者ハ紙包等ニテ通運會社或ハ汽船等ノ便宜ニ任スル等總テ會計局ニ付スルモノトス

第三十六條 官房主管スル所ノ簿書左ノ如シ

受領日記(六冊)其第一ヲ官省院使府縣

第二ヲ參謀本部監軍本部省内各局諸官員外國人

第三ヲ校團部所局廐

第四ヲ各鎮臺

第五ヲ砲兵方面同工兵方面トシ課僚之ヲ管シ各所ヨリ到來スル文書ヲ記注シ五冊各別ニ一貫セル番號ヲ付シ一ヶ月毎ニ一括トナシ房長其末ニ調印ス

而シテ五冊各符號アリ第一冊ヲ(一)トシ順次(伍)ニ至ル第六ハ傳令使ノ管スル所ニシテ即陸軍部内文武諸官員ノ進退黜陟差遣在勤等辭令書ニ認メタル者ヲ同様ノ手續ニテ記載シ緘封シテ本人長官ノ許ニ送致ス而シテ其符號ヲ(辭)トス密事日記事柄ニヨリ卿之ヲ秘セント欲スル者ハ房長其意ヲ承ケ此簿ニ記載シオクモノトス勅奏官免録傳令使ノ管スル所ニシテ勅任官ノ就職轉職免官免職奏任官ノ進級免官等總テ太政官ニ上申スル件々ヲ記載ス但勅任官ト雖ハ將官ノ職務命免ハ將校職務命免録ニ記注ス將校職務命免録傳令使ノ管スル所ニシテ將校職務命免ノ上請ニ係ル件々ヲ記注ス官房日記課僚ノ管スル

所ニシテ官房官員ヨリ願伺出並ニ其進退轉免等ノヲ記載ス出勤簿房長以下出務ノキ此簿ニ捺印シ以テ勤欠ヲ正ス當直日記當直ノ者其名ヲ記シ房長退省後ヨリ翌日出省迄出來セシ事柄ノ後証トナル者ヲ記載ス

第三十七條 課僚ハ順番ヲ以テ一人宛宿直スヘシ

第三十八條 宿直ノキニ當リ出來セシ事項ノ翌日迄指置カヌキ者ハ速ニ房長若クハ副長ニ申告シ指揮ヲ待ツヘシ

第三十九條 當直ノ者ハ交代ノ節前直ノモノヨリ當直日記並ニ昨日ヨリ今日ニ陟ル事件等ヲ面ノアマリ受授スヘシ且當直ハ暫時モ其席ヲ離ル、ヲ許サス

第四十條 當直ハ公務ニ就テハ他局ノ當直ヲ呼寄セ
又臨時公事多忙ナルキハ助手セシムルヲ得ヘシ
第四十一條 凡當直中非常或ハ出火等コレアリ其場
所陸軍部内ニ關係アルキハ直ニ卿及ヒ房長ヘ報告
スヘシ

第四十二條 當直ハ諸向ヨリ公事ニ付馬車及軍馬ヲ
請求スルキハ第二十一條ノ通り取計フヘシ

第四十三條 當直ノキニ當リ諸向ヨリ回章或ハ郵書
到來スルキハ郵書ハ領受シ置キ達書回章ハ精密ニ
書留置キ更ニ他向ヘ順達スヘシ

○大審院職制 乾卷六十
七丁參看

(追加) 明治十二年十二月十三日
太政官第四十七號布告

明治十二年二月十九號布告中大審院職制第一項ヘ左
ノ通但書追加候條此旨布告候事

院長ハ課ヲ分テ主任ヲ命シ云々

但院長事故アルキハ上席判事ヲ以テ代理セシムル
ヲ得

○警視局職制並章程及服制 乾卷百九十六丁附錄五ノ卷
三十四丁同七三十一丁參看

(參考) 明治五十一年十二月十二日警視本署
第一百五十一號ヲ以各課各分署ヘ達

大審院職制
警視局職制並章程及服制

書記課外國掛ヲ自今第二課へ屬シ候條此旨相達候事

(參考) 明治十二年七月十一日內務省無號ヲ以警視局へ達

其局管理府縣囚獄ノ事務監獄局へ可引渡此旨相達候事

(參考) 明治十二年十月廿八日東京警視本署甲第卅七號ヲ以達

今般京橋區新船松町元船改所へ水上警察署ヲ設ケ候條此旨布達候事

(參考) 明治十二年七月七日警視本署第九十一號ヲ以各課各分署へ達

第一條 大臣參議警衛ノ巡查ヲ警衛巡查ト稱シ其指

揮長ヲ警衛長トシ警部ヲ部長トシ警部補警部試補ヲ副部長トス

第二條 警衛ニ係ル諸願伺届及各員進退等總テ各分署同様タルヘシ

第三條 賜休暇亦前條ト同様タルヘシ
右相達候事

(參考) 明治十二年十月六日警視本署ヨリ第百三十四號ヲ以テ各課各分署へ達

第一課中警衛掛ヲ設ケ警衛事務並ニ該部巡查ヲ管理セシメ候條此旨相達候事

(參考) 明治十二年八月廿一日警視本署第百貳拾四號ヲ以テ各課各分署へ達

警視局職制並章程及服制

先般公務ノ外角袖着用不苦旨相達置候處私事ト雖モ
本署並各分署へ出頭ヲ要スル時ハ洋服着用可致此旨
爲心得相達候事

但兼テ公認ヲ得ル者及ヒ急報等ノ場合ハ此限ニア
ラス

(參考) 明治十二年七月十日東京警視本署
第九十三號ヲ以各課各分署へ達

今般巡查禮服制定和成候ニ付是迄ノ制帽ヲ以テ禮帽
トシ尙制帽ニ兼用候條此旨相達候事

(參考) 明治十二年八月十八日警視本署
第百貳拾貳號ヲ以テ各分署へ達

明治七年五月規第三百八十六號達ヲ以テ巡查禮式並手

棒携方等粗器之儀有之候者第一課巡視官員ニ於テ見
認候節ハ本署へ呼出シ教諭致來候處以來右等ノ者有
之時ハ該員ヨリ直ニ其分署長へ通知セシメ候條分署
ニ於テ篤ト教諭候様可致此旨相達候事

(參考) 明治十二年十月廿八日警視本署第
百三十八號ヲ以テ各課各分署へ達

警部試補已上零服ノ儀自今小倉地ヲ以テ調製着用候
トモ不苦候條此旨相達候事

但シ染色ノ儀ハ成規ノ通可相心得事

(參考) 明治十二年十月卅一日東京警視本署
第百四十號ヲ以テ各課各分署へ達

明治九年達第九十號警部補以上制帽服着用並帶劔心得

第一條但書左ノ通改正候條此旨相達候事

但零服ニ於テモ同様ノ儀ト可相心得事

第一條 警部補以上云々

但本署第一課詰警視並内外勤員及分署詰ヲ除クノ外平常出勤ハ帶劔ヲ要セス且帽及袴ハ制外ノモノヲ用ユルモ妨ケナシ

(參考) 明治十二年七月二日警視本署第八十九號各分署へ達

巡查服制改定相成候ニ付テハ禮服ノ儀ハ新拜命ニ限

リ壹着相渡候條各保存方注意可致此旨相達候事

但シ兼テ相渡候分ハ六ヶ月ヲ經過スト雖モ當分不相渡候事

(參考) 明治十二年七月七日警視本署第九十號ヲ以テ各課各分署へ達

今般巡查禮服被相定候ニ付テハ右着用方等左ノ通可

相心得此旨相達候事

一 禮服ノ儀ハ職務上着用ヲ要スル場合ノ外濫用スヘ

カラス候事

但私事ト雖モ祝賀祭葬等ニ係ル節ハ着用不苦候

事

一 禮服着用ノ節ハ手傘一切不相成候事

(參考) 明治十二年十月卅一日警視本署無號ヲ以テ各分署へ達

明治九年九月達第九十號警部以上制服着用並帶劔心

警視局職制並章程及服制

得第一條但書左ノ通改正候條此旨相達候事

但署ニ於テモ同様ノ儀ト可相心得事

第一條 警部補以上云々(但本署第一課詰警視並内外

勤員及ヒ各分署詰ヲ除クノ外平常出勤ハ帶劍ヲ要

セス且帽及袴ハ制外ノモノヲ用ルモ妨ケナシ)

軍人軍屬脱走ノ者捕縛護送方ノ儀ハ明治十年四月陸

軍裁判所へ送付致シ來リ候處以來各府縣ヨリ遞傳護

送ノ者及ヒ各分署ニ於テ捕獲若シクハ自首シタルモ

ノハ其所屬ノ本隊又ハ所轄ノ官廨へ送付可致此旨相

達候事

但シ其本隊及ヒ所轄官廨東京ニ在ラサル向及ヒ常

事犯ニ係ル者ハ從前ノ通りニ候事

當局官員病氣引籠十五日以上ニ及フ者ハ必ス警視醫

員ノ診察ヲ添届出ツヘキ成規ニ候處以來ハ當局醫員

ノ診斷ニ限ラサル儀ト可相心得此旨相達候事

但シ警部補以下ハ從前ノ通可相心得事

(參考) 明治十二年十二月十三日警

視本署甲第四十二號布達

伊豆國大島ノ内新島村へ警視出張所ヲ設ケ七島人民

ニ係ル警察事務取扱候條此旨布達候事

(參考) 明治十二年十二月廿六日警

視本署甲第四十九號布達

第一方面第五分署ノ儀日本橋區久松町四十一番地へ

移轉候條此旨布達候事

○電信條例 乾卷二百八丁附錄五卷四十八丁參看

(參考) 明治十二年十月十三日 太政官第四十五號布告

本年一月露西國聖彼得爾堡ニ於テ萬國電信盟約ニ加入シ別冊條約書調印交換相濟候條此旨布告候事

萬國條約書

- 第一條 同盟各國ハ何人ヲ問ハス萬國聯合電信ノ方法ニ依テ通信スルノ權利アルコトヲ承認ス
- 第二條 同盟各國ハ通信ノ秘密且速達ヲ擔保スルカ爲メ必用ナル百般ノ處置ヲ爲スヘシ
- 第三條 然レトモ同盟各國ハ萬國電信取扱上ヨリ起

ル一切ノ責ニ任セサルヘシ

第四條 同盟各國政府ハ通信ノ速達ヲ擔保スルニ十分ナル線數ヲ設備シ以テ特別ノ電線トナシ萬國電信ノ用ニ充ツヘシ

此特線ハ方今電機學經驗上ニ於テ發明セシ最良ノ方法ヲ以テ建設使用スヘシ

第五條 電信ヲ區分シテ左ノ三種トナス

第一 官報

即チ同盟國ノ首長大臣陸海軍將帥公使又ハ領事ノ通信ヲ云フ

第二 局報

即チ同盟國各電信局ヨリ出セル報信ニシテ萬國

電信ノ處務ニ關シ或ハ各局協議ノ上國益トナル
ヘキ事件ニ關スル者ヲ云フ

第三 私報

傳送ハ總テ官報ヲ先ニシ他ノ報信ヲ後ニス

第六條 官報並ニ局報ハ隨時ニ暗號ヲ用テ報スルコ

トヲ得ヘシ

私報ハ暗號ヲ以テ贈答スルコトヲ許シタル兩國政
府ノ間ノミニ於テ之ヲ送受スルヲ得ヘシ

暗號ヲ以テ書シタル通信ヲ認許セサル國ト雖モ第
八條ニ云フ

通信停止ノ時ヲ除クノ外其私報ヲ傳送スルコトハ
許スヘキモノトス

第七條 同盟各國ハ其國ノ治安ニ害アリ其國ノ法律

若クハ風儀ニ悖ルモノト看認ル私報ハ其傳送ヲ差
留ルノ權アリ

第八條 各國政府ニ於テハ期限ヲ定メス一時萬國電
信ノ使用ヲ停止スルヲ必要ナリト思考スルトキハ
其趣ヲ同盟國各政府ヘ報知シ管下總體ノ電線或ハ
一部ノ電線又ハ音信ノ種類ヲ限リ之ヲ停止スルノ
權アリ

第九條 同盟各國ハ音信ノ傳送及ヒ配達ヲ一層保全
且便捷ニスル爲メ同盟國電信各本局ニ於テ協議裁
決シタル種々ノ方法ヲ以テ各出狀人ニ利益ヲ與ル
事ヲ務ムヘシ此各國中孰レニテモ音信ノ傳送及ヒ